

2017（平成 29）年度事業報告書

—2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日—



学校法人 聖隷学園

目次

1	法人の概要		
1	建学の精神	…	1 頁
2	学校法人の沿革	…	2 頁
3	設置する学校・学部・学科等	…	3 頁
4	学校・学部・学科等の学生・生徒・園児数の状況	…	4 頁
5	役員の概要	…	6 頁
6	評議員の概要	…	7 頁
7	教職員の概要	…	8 頁
2	事業の概要		
1	事業の概要	…	9 頁
2	主な事業の目的・計画及びその進捗状況	…	18 頁
3	施設等の状況	…	30 頁
4	その他	…	30 頁
3	財務の概要		
1	決算の概要	…	31 頁
2	経年比較	…	34 頁
3	主な財務比率比較	…	37 頁
4	その他	…	41 頁

1 法人の概要

1 建学の精神

◆ 基本理念 「生命の尊厳を守り、自分のように隣人を愛する」

イエス・キリストが自ら弟子の足を洗い手本を示されたように、行って同じようにすること、人と共にあり、共に生きることを人生の目的と喜びとすること、病人や障害を持つ人、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、クリストファーが危険を冒し、命がけでイエス・キリストを背負ってライン河を渡ったように、これらの人々を大事にケアする人材が本学園から育つことを願っています。また、聖隷学園は地域の人々にとって役に立つ学園であることを願っています。地域社会の発展に貢献する人材、さらには、アメリカ・ヨーロッパや発展途上国で国際的に活躍する人材が巣立っていくことを期待しています。

◆ 聖隷とは

新約聖書のヨハネによる福音書第 13 章に、最後の晩餐のとき、キリストは「食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいをとって腰にまとわれた。それから、たらいに水を汲んで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた・・・」とあります。当時、人の足を洗うことは奴隷の仕事でしたが、キリストは弟子たちに行動を以って最後の教えを示しました。「聖隷」の名はこの箇所由来しています。1926 年（大正 15 年）4 月、長谷川保ら 10 人ほどのクリスチャンの若者たちは、奴隷の形をとって弟子たちの足を洗われるキリストの姿をクリスチャンの理想の生き方と考え、自分たちもキリストに倣い、「聖なる神の奴隷」となって世の人々に仕える生き方をしようと社会福祉事業を目的として聖隷社を創立。ここから「聖隷」の歴史が始まりました。

◆ クリストファーとは

「キリストを運ぶもの・担うもの」という意味で、3 世紀半ば頃の半伝説的な殉教者の名前です。世界で最も強い人に仕えたいと願った彼が、王様や悪魔の家来を経て、最後にたどり着いた師がキリストでした。そして、この伝説の最後で彼は少年に姿を変えたキリストをそうとは知らずに背負って川向こうまで運ぶのですが、その少年（キリスト）は世界のすべての罪と苦しみを背負い、誰よりも重かったのです。以後、「クリストファー」はキリスト教の精神を担うことの高貴さを表す名称としてヨーロッパ諸国に広まっていきました。聖隷の創業者・長谷川保は、クリストファーがキリストを背負ったように、病人や障害者、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、大事にケアする人が育ってほしいとの願いから、校名を「聖隷クリストファー」と命名しました。

◆ シンボルマークの由来



外側の二重円は、最後の晩餐でイエス・キリストが弟子たちの足を洗った「たらい」を表現。内側の 3 つの円は、聖隷グループが使命とする医療、福祉、教育を象徴。中央の十字架はキリスト教を示し、聖隷のすべての事業が、キリスト教会の中から始まったことを示しています。故アルバート・アットウェル（アメリカ人、1978～1981 年聖隷学園に奉職）により 1980 年（昭和 55 年）に聖隷のシンボルマークが考案されました。

2 学校法人の沿革

1930 年	ベテルホームに結核患者収容開始
1936 年	浜松市三方原町の県有地 7 ヘクタール (21,000 坪) 払下げになる
1939 年	迫害が激しくおこり経営困難極まる 12 月天皇陛下より特別御下賜金を受ける
1949 年	各種学校遠州キリスト学園開設
1952 年	聖隷准看護婦養成所開設
1966 年	学校法人聖隷学園設立 聖隷学園高等学校設置
1969 年	聖隷学園浜松衛生短期大学設置
1980 年	聖隷学園浜松衛生短期大学専攻科助産学特別専攻開設
1988 年	聖隷介護福祉専門学校設置
1992 年	聖隷クリストファー看護大学看護学部設置
1998 年	聖隷クリストファー看護大学大学院看護学研究科（修士課程）設置
2001 年	聖隷学園高等学校を「聖隷クリストファー高等学校」に名称変更
2002 年	大学に社会福祉学部を増設し、「聖隷クリストファー大学」に名称変更 短期大学を「聖隷クリストファー大学看護短期大学部」とする
2003 年	聖隷クリストファー高等学校移転改築
2004 年	大学にリハビリテーション学部、大学院に社会福祉学研究科（修士課程）を設置 看護短期大学部看護学科を募集停止し、看護学部を定員増
2006 年	大学院にリハビリテーション科学研究科（修士課程）を設置 高等学校に英数科を設置
2007 年	聖隷クリストファー大学看護短期大学部専攻科助産学特別専攻を廃止し、 大学に助産学専攻科を設置
2008 年	大学院に保健科学研究科（博士後期課程）を設置 大学社会福祉学部にくども教育福祉学科を設置
2009 年	聖隷クリストファー中学校設置
2010 年	大学看護学部には養護教諭課程開設
2011 年	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園開設 大学社会福祉学部を社会福祉学科、臨床介護福祉学科及びこども教育福祉学科に改編 大学リハビリテーション学部を理学療法学科、作業療法学科及び言語聴覚学科に改編 大学院を看護学研究科、社会福祉学研究科、リハビリテーション科学研究科の 各博士前期課程・博士後期課程に改編
2013 年	大学社会福祉学部臨床介護福祉学科を、「介護福祉学科」に名称変更 大学院保健科学研究科廃止
2016 年	聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校開設

3 設置する学校・学部・学科等（2017年5月1日現在）

設置する学校	開設年	学部等	学科・専攻等	摘 要
聖隷クリスファー大学	1992 年	看護学部	看護学科	
	2007 年	助産学専攻科		
	2002 年	社会福祉学部	社会福祉学科	2011 年度より 3 学科に改編 2013 年度「臨床 介護福祉学科」 を「介護福祉学 科」に名称変更
	2008 年		こども教育福祉学科	
	2011 年		介護福祉学科	
	2004 年	リハビリテーション学部	理学療法学科	2011 年度よ り 3 学科に 改編
			作業療法学科	
			言語聴覚学科	
	1998 年	大学院看護学研究科 博士前期課程（修士課程）		
	2011 年	大学院看護学研究科 博士後期課程		
	2004 年	大学院社会福祉学研究科 博士前期課程（修士課程）		
	2011 年	大学院社会福祉学研究科 博士後期課程		
	2006 年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士前期課程（修士課程）		
	2011 年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士後期課程		
聖隷クリスファー大学 介護福祉専門学校	2016 年	介護福祉学科		
聖隷クリスファー高等学校	1966 年	普通科		1974 年衛生 看護科から 移行
	2006 年	英数科		
聖隷クリスファー中学校	2009 年			
聖隷クリスファー大学附属 クリスファーこども園	2011 年			

4 学校・学部・学科等の学生・生徒・園児数の状況（2017年5月1日現在）

聖隷クリストファー大学・大学院

（単位：人）

		収容 定員	在 籍 者 数				
			1 年	2 年	3 年	4 年	合計
大学院	看護学研究科	35	14	12	11	－	37
	博士前期課程	20	10	6	－	－	16
	博士後期課程(*1)	15	4	6	11	－	21
	社会福祉学研究科	29	7	8	4	－	19
	博士前期課程	20	3	6	－	－	9
	博士後期課程(*1)	9	4	2	4	－	10
	リハビリテーション科学研究科	35	13	20	3	－	36
	博士前期課程	20	11	13	－	－	24
	博士後期課程(*1)	15	2	7	3	－	12
大学院合計		99	34	40	18	－	92
大学	看護学部	590	156	156	158	164	634
	看護学科	590	156	156	158	164	634
	助産学専攻科	15	17	－	－	－	17
	社会福祉学部	500	84	76	84	105	349
	社会福祉学科	180	34	37	34	41	146
	介護福祉学科	160	11	4	11	17	43
	こども教育福祉学科	160	39	35	39	47	160
	リハビリテーション学部	340	107	104	106	99	416
	理学療法学科	120	45	45	39	41	170
	作業療法学科	120	33	34	34	38	139
	言語聴覚学科(*2)	100	29	25	33	20	107
	大学合計	1,445	364	336	348	368	1,416
総 合 計		1,544	398	376	366	368	1,508

(*1)2011 年度開設。

(*2)2017 年度まで言語聴覚学専攻の学生を含む。

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

（単位：人）

		収容 定員	在 籍 者 数		
			1 年	2 年	合計
専門学校	介護福祉学科	40	26	21	47
総 合 計		40	26	21	47

聖隷クリストファー高等学校

(単位：人)

	総定員	在 籍 者 数			
		1 年	2 年	3 年	合計
英数科	282	49	65	53	167
普通科	600	207	246	212	665
総 合 計	882	256	311	265	832

聖隷クリストファー中学校

(単位：人)

	総定員	在 籍 者 数			
		1 年	2 年	3 年	合計
総 合 計	210	45	50	44	139

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

(単位：人)

	総定員	在 籍 者 数						
		0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
定員	225	15	15	15	60	60	60	225
1 号認定	135				51	48	37	136
2.3 号認定	90	5	15	15	14	15	16	80
総合計		5	15	15	65	63	53	216

5 役員の概要

2018年3月31日現在
定員数 理事13名、監事2名

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
理事長	長谷川 了	常 勤	1980年3月理事就任 1980年4月専務理事就任 1989年4月理事長就任
専務理事	小柳 守弘	常 勤	2006年5月理事就任 2006年11月法人事務局長就任 2012年11月専務理事就任（法人事務局長兼任）
理 事	大城 昌平	常 勤	2017年4月聖隷クリストファー大学学長就任 2013年5月理事就任
理 事	茨城 久一郎	常 勤	2016年4月聖隷クリストファー中・高等学校校長就任 2016年4月理事就任
理 事	永井 英司	常 勤	2013年4月聖隷学園宗教主任就任 2016年11月理事就任
理 事	藤本 栄子	常 勤	2016年4月聖隷クリストファー大学看護学部長就任 2016年5月理事就任
理 事	横尾 恵美子	常 勤	2012年4月聖隷クリストファー大学社会福祉学部長就任 2016年4月聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校校長就任 2017年5月理事就任
理 事	太田 雅子	常 勤	2011年4月聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園総園長就任 2012年5月理事就任
理 事	小川 義文	非常勤	2015年4月理事就任 （東京海上日動火災保険株式会社浜松支店長）
理 事	山本 敏博	非常勤	2001年4月理事就任 （聖隷福祉事業団理事長）
理 事	荻野 和功	非常勤	2003年4月理事就任 （聖隷三方原病院院長）
理 事	鳥居 裕一	非常勤	2012年11月理事就任 （聖隷浜松病院院長）
理 事	中村 勇	非常勤	2016年4月理事就任 （東京海上日動ベターライフサービス株式会社 取締役社長）
監 事	俵山 初雄	非常勤	2009年4月監事就任 （静岡県西部地域しんきん経済研究所 理事長）
監 事	平井 章	非常勤	2011年4月監事就任 （十字の園理事長）

前会計年度の決算承認に係る理事会開催日後の退任役員

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
	該当なし		

2017年3月31日以降の異動状況

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
【退任】			
理 事	小島 操子	常 勤	2017年3月理事退任
【就任】			
理 事	横尾 恵美子	常 勤	2017年5月理事就任

6 評議員の概要

2018年3月31日現在
定員数 27名

氏 名	主 な 現 職 等
長谷川 了	学校法人聖隷学園 理事長
小柳 守弘	学校法人聖隷学園 専務理事・法人事務局長
大城 昌平	聖隷クリストファー大学 学長
茨城 久一郎	聖隷クリストファー中・高等学校 校長
藤本 栄子	聖隷クリストファー大学看護学部 学部長
横尾 恵美子	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 学部長兼介護福祉専門学校 校長
太田 雅子	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 総園長
小川 義文	東京海上日動火災保険株式会社 浜松支店長
大野 和男	聖隷クリストファー中・高等学校 宗教部長
新宮 尚人	聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 学部長
宮前 珠子	聖隷クリストファー大学大学院リハビリテーション科学研究科長 (大学院三研究科長代表)
上村 敏正	聖隷クリストファー中・高等学校 副校長
敷浪 いづみ	聖隷クリストファー中・高等学校 教頭
山根 之雄	学校法人聖隷学園 法人事務局 財務部長
中村 憲司	聖隷クリストファー大学 総務部長
鈴木 聡	学校法人聖隷学園 法人事務局 企画部長
玉澤 卓也	聖隷クリストファー大学 同窓会会長
木村 忠雄	聖隷クリストファー大学 同窓会副会長
榊原 和美	聖隷クリストファー高等学校 同窓会長
鈴木 浩人	聖隷クリストファー大学・介護福祉専門学校 後援会長
道田 祐司	聖隷クリストファー中・高等学校 P T A 会長
長澤 道子	(社)牧ノ原やまばと学園 理事長
藤島 一郎	浜松市リハビリテーション病院 院長
稲松 義人	(社)小羊学園 理事長
加藤 成久	(社)神戸聖隷福祉事業団 理事
森本 俊子	(社)聖隷福祉事業団聖隷浜松病院 総看護部長
堀口 路加	学校法人堀口学園 理事長、(社)愛の園福祉会 理事長

7 教職員の概要（2017年5月1日現在）

聖隷クリストファー大学・大学院 教員数

（単位：人）

	専 任					兼任	合計
	教授	准教授	講師 助教	助手	計		
看護学部	17	13	22	0	52	51	103
社会福祉学部	14	6	7	0	27	53	80
リハビリテーション学部	12	9	10	0	31	74	105
助産学専攻科	1	1	1	0	3	29	32
合 計	44	29	40	0	113	207	320

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 教員数

（単位：人）

	専任	兼任	兼任	合計
介護福祉学科	3	23	14	40

聖隷クリストファー高等学校 教員数

（単位：人）

	専任	兼任	合計
普通科・英数科	40	40	80

聖隷クリストファー中学校 教員数

（単位：人）

	専任	兼任	合計
中学校	11	6	17

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 教員数（調理員等含む）（単位：人）

	専任	準職	合計
	18	18	36

※準職員は7.75hで1名換算

職員数

（単位：人）

	専任	準職	派遣	合計
法人	13	3	6	22
聖隷クリストファー大学 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校	41	7	3	51
聖隷クリストファー中・高等学校	5	3	0	8
クリストファーこども園	3	11	1	15
合 計	62	24	10	96

2 事業の概要

1 事業の概要

(1) 法人全体

◆ メディカルスクール（医学系専門職大学院）設置構想

国政として国際基準に合わせた医学教育（2023 年以降）の改革が掲げられています。この対応としてメディカルスクール（医学系専門職大学院）設置構想を掲げています。

過去 6 年制医学部から 4 年制メディカルスクール（学部卒後）に移行したハーバード大学医学部、デューク大学医学部シンガポール校、オーストラリアディーキン大学・モナシユ大学、マレーシア、韓国（ソウル近郊）、フィリピンにおける医師養成状況事例を資料にまとめ検討材料の基礎としています。

◆ 小学校設置構想

建学の精神であるキリスト教精神に基づいたこども園から専門職大学院（メディカルスクール）までの一貫したグローバル化の構築に向けた聖隷学園中長期経営計画（2016 年度から 2025 年度まで）を策定しました。キリスト教精神を基盤とした英語イマージョン教育による小学校設置に向けて、小学校設置プロジェクトを中心に骨子（教員招聘、教育課程、教育課程特例申請、生徒募集、校舎建築）をまとめました。2018 年 5 月に小学校設置計画書を提出します。こども園から小学校、中・高等学校につなげる英語教育を展開しながら、大学、メディカルスクール（医学系専門職大学院）進学を見据えたグローバル化を図るため、学園全体で連携して検討していくための準備を進めています。

◆ 中長期人事政策に向けた取組み

今後将来的に納付金や補助金の増額が見込めない一方、アベノミクス政策により人件費比率は毎年 1% 近く増加していく見通しがあり、財政的に非常に厳しい状況になっていきます。大学、中高の教員配置計画、教員年齢問題対応を含めた特任教員配置計画ならびに非常勤講師配置計画について、人件費比率を大学では 63%、中高では 60%、こども園では 70% 以下を前提とした人事政策を実施していきます。そのひとつとして、教職員人事評価制度について、客観的説得力のある評価と処遇反映によるやりがいのある制度の構築に向けて、評価基準の整備、処遇反映方法等の調整を行ない、事務職員は 2017 年度から導入しました。大学教員は 2018 年度から新評価制度を導入します。今後、中・高等学校についても検討をしていきます。また、2017 年度より大学教員新規採用者（助教）に任期制度を導入しました。2018 年度以降は教授、准教授への適用について検討します。

◆ 地域における交流と信頼関係づくり

三方原地区における聖隷グループの各施設が共通する課題について話し合い、協調を図っていくことを趣旨として三方原サミットを開催しました。2017 年度は浜松ゆうゆうの里が進行担当法人として、「地域に向けた情報発信」をテーマに三方原サミットの各法人が連携した広報活動について検討し、2018 年静岡元旦広告ができました。また、災害時対応として、水害を想定し、三方原サミット災害対策本部、三方原サミット各施設合同でランシーバーによる情報収集訓練を行いました。今後も定期的に訓練を実施していきます。

9 月には、第 8 回キリスト教信徒交流会を開催しました。十字の園が担当法人となり、「聖隷の源流、歴史・先達者の思いを知り、伝える」をテーマに講演が行なわれました。聖隷グループ各法人で働くクリスチャンを中心に約 100 名以上が参加され、信徒交流を図りました。

（２）聖隷クリストファー大学

聖隷クリストファー大学は、キリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶すると共に、広い知識と深い専門の学芸を教授・研究し、保健医療福祉分野の看護、リハビリテーション及び福祉の専門職業人を育成して、人類の健康と福祉に寄与することを目的としています。

2017 年度は大学の中長期事業計画「未来創造躍進プラン」の初年度であり、「保健医療福祉の未来を創造する教育・研究・実践のフロンティア大学」をビジョンに掲げ、七つのミッションステートメントを基に 2017 年度の事業計画を立案、遂行してきました。

中長期事業計画「未来創造躍進プラン」

<ミッションステートメント>

- 1) 建学の精神であるキリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を大学運営並びに教育・研究・実践に活かし、人々の幸福と健康、地域とアジアの保健医療福祉の未来創造に貢献する。
- 2) 保健医療福祉の総合大学としての学際性を活かした独創的教育を提供し、建学の精神に裏付けられた豊かな人間性と倫理観、教養と専門的知識・技能を兼ね備え、一人ひとりのために労を厭わぬ専門職を育成する。
- 3) 大学院博士前・後期課程をもつ大学として、卓越した研究成果と知を創造し、保健医療福祉の発展に貢献する高度専門職者並びに研究・教育者を輩出する。
- 4) 社会に開かれた大学として、地域社会における保健医療福祉の教育・研究・実践の拠点を形成し、共生社会の実現への使命を果たす。
- 5) 国際的な保健医療福祉の課題解決に向けて、本学の人的・知的・技術的・教育環境の資源（聖隷ブランド）を活かした国際支援及び人材育成により国際貢献に資する。
- 6) 時代を先見し、自律的な自己点検評価と大学改革の実行により、保健医療福祉のモデル大学として学界・教育界をリードする。
- 7) 教職員一人ひとりが個人として尊重され自律性が認められるとともに、自己成長と協働により大学（聖隷学園）の新たな価値創造と発展に努める。

2017 年度の事業計画として、教育、研究、学生支援、就職・キャリア支援、地域連携、国際化、学生募集・入試、基盤整備について目標と行動計画を策定し、各学部・部門にて計画を実行することにより大学改革を推進してきました。

【教育】

全学カリキュラム改訂（英語教育の充実、地域実践アクティビティラーニング科目、国際実践アクティブラーニングの科目の設定）を行ないました。また、各学部のカリキュラムの改定について検討を進めました。

看護学部は、現行カリキュラムの評価に基づいて課題を抽出し 2019 年度からの新カリキュラムの検討を行ないました。また、看護実践能力の向上を目指して学部の教育の特色でもあるシミュレーション教育を推進しました。

社会福祉学部は、2018 年度地域実践アクティブラーニングの実施に向けた教育方法について検討を進めました。また、介護福祉学科では、今後の新たな学びとなる福祉工学の開設と産学連携の取り組み（福祉工学シンポジウム）を行ないました。こども教育福祉学科は 2019 年度のカリキュラム改訂に向けて準備を進め、小学校教員養成課程の設置に向けて申請を行ないました。

リハビリテーション学部は、国際リハビリテーションコースの履修モデルおよびカリキュラム、派遣先等を検討し制度設計を行ないました。

大学院では、留学生受け入れのための組織体制と教育環境の整備を行ないました。また、国際交流協定校との研究・教育の交流を推進しました。

【研究】

競争的研究資金（科学研究費助成）の獲得推進のため、研究推進委員会を中心に学部および関係部門と連携し、科研費公募説明会や科研費攻略シンポジウムを行ないました。科研費助成事業について新規に 15 件の研究テーマが採択されました（2018 年 4 月現在）。また、研究成果を公表する場として合同研究発表会を開催し、教員間の情報共有と研究に対するモチベーションの向上が図られました。

学内の研究費が有効に活用されているか検証するとともに、研究が一層推進されるよう費用対効果を重視した個人研究費及び共同研究費の制度の見直しを行ないました。

【就職・キャリア支援】

病院施設等との連携とキャリア教育が充実するよう、重点病院・福祉施設と卒業生が多く在職する病院・福祉施設に「卒業生に求める資質・能力」や「在学中に実施してほしい教育内容」など、大学の教育に関するアンケートを実施しました。

卒業生の母校への絆を育成することが就職・キャリア支援の一助となるよう活動しました。具体的には、卒業生に向けて WEB キャリア支援センター、広報誌クリストファー、SNS などにより情報を継続的に発信しました。また、大学と卒業生、卒業生同士の繋がりを強くするよう、同窓会の講演会・セミナー、同窓会報、同窓会の東京開催などの同窓会活動の支援を行ないました。

【地域連携】

地域の保健・医療・福祉の発展のために、地域との共同事業、研究や専門職向け研修、市民公開講座を実施しました。また、地域との連携・協働による課題解決を積極的に行う上で域自治体等との連携体制を構築するうえで、浜松市との包括連携協定を締結しました。今後、この連携協定のもと地域の保健医療福祉の発展に寄与し大学の役割を果たしていきます。

【学生支援】

学修・生活支援においては、在学生の本学への愛校心と帰属意識の醸成を意識して、学生自身による「キャンパスマナーやルールの遵守宣言」を動画で作成し、新入生オリエンテーションや在学生ガイダンスで放映し、学生が学生に呼びかけるような注意喚起を実施しました。また、学友会活動や聖灯祭実行委員会活動に教職員のワーキンググループが関わり、学生生活の課題を抽出しました。

また、2017 年度は、発達障害の傾向のある学生や学修支援が必要な学生に対する各教職員の支援内容を調査しました。2018 年度には、発達障害傾向のある学生に対する支援方法を検討します。さらに、保健医療福祉の専門職者を目指す学生が持つべき倫理観を身に付け、軽率な行動によって犯罪の被害者や加害者にならないよう指導を徹底しました。

【国際化】

グローバル化の推進計画を立案する「グローバル人材養成プロジェクト」を立ち上げ、国際支援事業の開拓を中心に、今後 5 年間の活動方針を検討しました。その中には、浜松市における「内なる国際化」に関わる取り組みとして、「3 学部共通科目：国際支援アクティブラーニングⅠ（国内）」、アジア・北米・オーストラリア等での国際支援活動を展開する「3 学部共通科目：国際支援アクティブラーニングⅡ（海外）」の立ち上げを提案しました。2017 年度は、国際支援方針の立案と学則変更を行い、2018 年度はプロジェクトの選定と事前調査、2019 年度はそのシミュレーションを行い、2020 年度に開講する計画です。

交流事業としては、シンガポール工科大学（理学療法学科・作業療法学科の交流先）と、オーストラリアのイーデス・コーワン大学（看護・社会福祉・リハビリテーション学部 3 学部共通の交流先）と交流協定を締結し、締結校が 6 校になりました。2018 年度から学生の派遣・受入を行う

計画です。さらに3月にハワイ大学とテキサス A&M International 大学を訪問し、交流協定締結の準備を進めました。

将来アジア地域でのHUB大学を目指す新しい試みとして、シンガポールのナンヤン理工学院と「第1回国際シンポジウム」を開催しました。(テーマ:「各国の高齢者の課題と教育機関における戦略」、参加人数94名:NYP教員3名、学生24名、本学教職員61名、学生6名)

留学生として、大学院リハビリテーション科学研究科博士前期課程に中国から1名、博士後期課程にベトナムから1名、合計2名が入学しました。入国手続き・下宿手配・授業料減免・奨学金手配など受入業務をルーチン業務としてシステム化しました。

【学生募集・入試】

学生募集活動として、オープンキャンパス、高校生対象講座、専門職体験セミナーなどを開催し、高校生が専門職について理解し体験する機会を提供しました。

看護学部は、高校生または高校教員を対象に身近で役立つ「健康増進・疾病予防・応急処置」に関するテーマで「ワークショップ」や大学での学び・生活について、在学生による出身高校訪問等実施しました。

社会福祉学部では担当制の高校訪問の強化や各学科独自の募集活動を展開しました。

リハビリテーション学部では高校と協働して行うプロジェクトとして部活動応援プログラムを実施しました。

各学部にて様々な募集活動を実施した結果、看護学部とリハビリテーション学部は入学者目標数以上の学生が入学しました。一方、社会福祉学部の3学科において入学者が目標数を下回った為、次年度に向けては募集活動の更なる強化と工夫を行ないます。

入試については、入試改革の一環として奨学生入試を新たに導入し実施しました。また、国が進める高大接続改革や大学入学者選抜改革を見据え、高大連携事業の推進と2021年度入試(2020年度実施)からの新たな入試制度の検討を行ないました。

【基盤整備】

私立大学等改革総合支援事業および私立大学等経営強化集中支援事業を活用し教育改革を進めました。その結果、両事業において採択されました。また、組織力の強化・発展につながるよう、中長期的教員配置計画の策定と人事制度の制度設計と規程を制定しました。

2018年度は2017年度の事業を振り返り、継続発展させていくとともに、下記のことについて重点事業として取り組んでいきます。

- ・社会福祉学部の構造改革
- ・子ども教育福祉学科の小学校教員養成課程の開設と学生募集
- ・グローバル化の推進と留学生の教育・生活・経済支援のための基金の創設
- ・地域振興に資する大学を目指した産学官地域連携コンソーシアムの構築

(3) 介護福祉専門学校

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校は、キリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶すると共に、介護福祉に必要な専門的知識、技術及び態度と愛の精神が統合された有為な職業人を育成して、社会の福祉に寄与することを目的としています。

2017年度は開設2年目で完成年度でもあり、教職員が連携して教育、学生支援、学校運営において十分に取り組みました。2017年度の事業計画では、開設初年度に引き続き、教育理念に基づいた学校運営、教育活動、学生募集活動を重点項目に掲げ取り組みました。

1 入学生を確保するための学生募集活動（2018年度入学者目標数35名）

高校生、保護者の介護に関するイメージ向上を図るため、介護の魅力・やりがい・将来性などをオープンキャンパス、高校内ガイダンスなどを通して教員および介護現場で働く方から伝えました。在学生からは、出身校15校に対して充実した学修・学生生活を掲載したニュースレターを配布しました。また、本校の特長である「豊富な就職先」「充実した経済的サポート」「大学レベルの教育」「多様な進路」を分かりやすく伝えてきました。

入学者数は21名（入学目標数35名）となりました。

2 完成年度を向かって教育活動の一層の充実

資格取得までに到達しなければならない目標を達成し、実践力に優れた介護福祉士教育を実施するために、指定科目の達成度についての可視化とその共通認識をしました。

学力評価試験と介護福祉士国家試験に全員が合格するように教育・試験対策を強化しました。具体的には、教員による対策講座を設け、特に「社会の理解」の科目の強化を図りました。また、教員を中心に学生がお互いに助け合いながら国家試験の勉強に取り組みました。

学生の主体的学修（アクティブラーニング）を推進するために、アクティブラーニングの意味、意義、方法について理解するための研修会を教員全員参加のもと実施しました。タブレット端末を活用した授業を展開し、学生の学びを深めることができました。

3 学生支援の充実を図る

将来の就職先につながる奨学金支援法人（14法人の管理職者）から、その法人の運営や介護福祉士の役割・働きなどを話してもらう等、学生が自立して自分の将来像を描くことができるように、そのことにより学修意欲が向上するように支援しました。また、卒業後に福祉分野のより高い専門性と知識を修得することを希望する学生が学園内推薦編入学制度を利用し、3年次編入学を早期に決めて学修を継続できるよう支援しました。2名が学内推薦編入学制度を利用し進学を決めました。

本学で学んだことを誇りと思い帰属意識を醸成することができるような学生支援の一環として、礼拝を始めとした委員会において2年生が1年生にその内容を教え、積極的に担えるように支援し、1年生の秋セメスターからは1年生が主体となった運営ができるようになりました。

4 教育・管理運営の改善充実のための自己点検・評価の実施

教育活動等の状況等について課題や問題点を発見し、それらを改善につなげるための自己点検・評価を行なうために、自己点検・評価に関する規程を整備しました。

(4) 聖隷クリストファー中・高等学校

1. 本校の目標

聖隷クリストファー中・高等学校は「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書の言葉を建学の精神とし、キリスト教の真理と愛の教えに立って、国際的視野を持ち、世界の平和と福祉に貢献する人物の育成を教育目標として掲げています。

本校での6年もしくは3年間の学びを通して、生徒一人一人が自分に与えられている賜物(たまもの)や個性を自ら発見し、自分の能力や適性にふさわしい進路を実現すること、生徒の成長や卒業生の生き方を通して、保護者や地域の方々から信頼される魅力ある学校となることを、目指しています。

2. 2017年度の歩み

- ◆2017年は中・高新5か年計画「未来創造プラン(2017～2021)」の1年目に当たりました。この計画は「隣人愛を基盤としたワンステップアップの私学へ」をスローガンに掲げ、進学実績を向上させ、進学校として優位に立つ中・高6年一貫校に成長していくことを、目標としています。

これを実現するために、新たに「5年後の大学等合格者数値目標」を掲げ、具体的施策としては○学習指導と部活指導のバランスを見直す、○生徒の家庭学習時間を増やす、などが挙げられました。

◆人事組織の改編と教員業務の改善

上村敏正副校長の就任により、校長―副校長―教頭による中高を一体とする学校運営体制が確立しました。公立高校での長年にわたる職歴と、野球部を何度も甲子園出場に導いた経験を持つ副校長の見識と、聖隷中高の歩みと特質を熟知した教頭の視点とが、茨城校長のもとで統合され、本校の歩みが一層力強く、時代の変化に即応したものとなることが期待されます。

多忙を極める教員の繁忙感を低減させ、各教員が得手とする分野で成功体験を実感していくことが、ひいては生徒のやる気を引き出すことにつながります。会議の持ち方の工夫や部活指導費の改定等が検討されています。

◆国公立大学合格者数の増加

2017年度の第1の成果は、国公立大合格者が29名に上ったことです(内訳 旧帝大1、県内国公立大9など / 英数科24、普通科2、過年度生3 / 英数科生徒の約半分が国公立大合格となる)。また、難関私大合格者は18名(英数科13、普通科5 / 一般入試で慶応義塾と上智に合格した内進生あり)でした。

英数科担当教員を中心に大学や予備校・出版社などの入試研究会や教科指導研修にたびたび参加したこと、年間を通じて模試分析会や出願検討会を繰り返し、一人一人の生徒についての綿密な指導を行ったこと、2月の家庭学習期間にも毎日登校させ、すべての入試科目について1対1の個別指導体制を組んだことなどが功を奏しました。

◆セミナーハウス利用の進展

前年2学期にオープンしたセミナーハウスの利用が着実に進みました。平日放課後の利用は英数科生がやや多いですが、定期試験前には中学生から高校生まで多くの利用で混み合う状況です。合宿利用も多彩になりました。まず1学期には高校1年生全員を対象に、クラス単位での初期指導合宿が実施されました。高校生になって初の中間テストの直前に、「集中してテスト準備をする夜の過ごし方」を一泊研修し、級友との交流も進みました。

英数科では高校2年生の「夏休み勉強合宿」(7月)「受験スタート合宿」(12月)、高3生の「聖隷祭終了後切り換え合宿」(6月)という流れが定型化しました。これらの合宿では、集中した自習時間を持つとともに、担任による個別面談がじっくり行われました。

セミナーハウス利用希望のアンケート結果に基づいて、授業のある土曜日の午後の開放が2018年度から試行されます。

◆総合学習：竹林労作

本校では長年、国有林を借り受けて学校林の活動が行われてきました。30余年前に地ならしをしてヒノキを植林した西気賀の学校林では、多くの卒業生が炎天下で下草刈りをし、成長した若木の間伐、枝おろしと代々作業が受け継がれて樹林が育ちました。近年は作業がなくなり、学校林労作は休止されていました。これを再開することを願ってきましたが、学校林時代からご指導をいただいていた、引佐森林組合のアドバイスを受けて、今年竹林労作として再開できました。西区神ヶ谷町の竹林において、高2英数科が2月にクラス単位で2日ずつ竹林に入り、伸び放題になっている竹の伐採や根切りなどを体験しました。これは荒廃した森林を再生し自然と融合する環境整備を進める県の事業への参加でもあります。隣接する神久呂小学校・幼稚園との交流もでき、地域の方々にも喜んでいただけました。

◆部活動について

運動部では、強化部活の野球部、男子バレー部、サッカー部、準強化部活の女子ソフトボール部、全国大会常連の少林寺拳法部などを先頭に、どの部活も日々練習に励んでいます。県大会出場への壁を破る部も出てきています。

文化部においては放送部・かるた部・書道部・軽音楽部等が積極的に試合やコンクールに参加しています。吹奏楽部は2018年から、長年の夢であった大編成の部に挑戦することになりました。優秀校がひしめき合うこの地域で、飛躍を期してのチャレンジです。また、長年少人数の部員で地道に活動してきた文化部で、部員数の増加がみられます。数の変化が質の変化を促し、学習以外に打ち込める分野で、学校生活を充実させる生徒が増えることは、大変うれしいことです。

◆防災訓練

生徒を対象にした年2回(4・9月)の訓練は、避難経路の確認を中心に従来行われてきましたが、加えて教職員への訓練が実施されるようになりました。本校では通常、飲み水等は市水道を使用していますが、並行して総合グラウンド西側の井戸から井戸水をくみ上げ、体育館地下の受水槽に蓄え、これをトイレ用に使用しています。この水源は潤沢で水質も良く、消毒もしてあり飲み水にも使用できます。災害などで停電した場合はポンプが止まり、送水ができなくなります。これに備え、自家発電機の作動～ポンプを作動させて送水～トイレ用水の確保と井水の全体での利用、の訓練を教員対象に行っています。加えて緊急用食料の備蓄を増やし、簡易寝具の備蓄も進めて、大規模災害の際に、あわてて生徒を帰宅させなくてすむ対策としています。このような備えが、いざという際の周辺地域への貢献にもなると考えています。

3. 今後の展望

◆6年間一貫体制をより進める

中学校における学習習慣の定着と基礎学力の向上は顕著なものがあり、中学校からの内進生今後、中・高等学校の牽引役となっていくことが期待されます。一部の部活では、高校生に混ざって活動してきた部員が、リーダー的役割を担う傾向が出てきています。アクティブラーニングやクリティカル・シンキングを駆使した学びのプログラムや、タブレット導入などのICT

の推進も、6年間シラバスの中に先取りしていくことが、有効的と言えます。積極的・能動的に学ぶ内進生の姿勢と学力が、高校進級後一層花開き、高校からの入学生にも良い刺激となって、全体の活性化に寄与してくれることが望まれます。

- ◆日本社会の将来にとっての第1の危機は人口減少です。若年層が年々少なくなる中で、学校は選ばれ生き抜ける存在にならなければなりません。また今後、授業料の公的負担が進み、公私立の垣根が低くなって学校の真価が問われるようになります。グローバル化がすすむ中で、世界に通用する人材を育て選ばれる学校となるのが急務です。建学以来の「国際的視野を持ち、世界の平和と福祉に貢献する人物の育成」という色あせぬ目標に一層磨きをかけ、躍進したいものです。

（５）聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園（以下クリストファーこども園）は、2011年4月に静岡県西部で初めて開園した「幼保連携型認定こども園」です。園の基本理念である「キリスト教主義を基盤に心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」の下、「愛・思いやり・たくましさ・いのち・表現力・自立」を園の目標として、主体性や意欲、他者を思いやる心など豊かな人間性を育てていくとともに、異年齢や多様な人々との関りを通して、人と関わる力が育まれることを目指しています。

◆基本理念

「キリスト教主義を基盤に、心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」

◆基本方針

- ① 聖隷学園の建学の精神である「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書に示される愛の心をもつことを願っています。創造主（神）から一人ひとりに与えられた尊い命が守られながら、活き活きと伸びていき、それぞれの内側にある力が十分に発揮されると同時に、周囲の人々と共に生きることに喜びや楽しみを感じ、人と関る力を身につけることを目指します。
- ② 発達や学びの連続性という視点から小学校への接続を意識し、就学前の教育・保育を一体的・総合的に展開します。幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容に沿って「生きる力」の基礎を身につけていくことを目標とします。
- ③ 保護者や地域住民のために子育て支援を充実させます。皆で子どもの成長を助け喜び合えるように、子どもに関るあらゆる分野の人々が協力し、子育て環境の向上に努めます。
- ④ 聖隷クリストファー大学附属の園として、大学の教員と協力し、保育の質の向上のために、また乳幼児を取り巻くさまざまな問題の解決のための実践的研究を行います。その成果を公開・発表し、幼児教育・保育業界のモデルとなる保育プログラム作りを目指します。

◆園目標

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| ＜愛＞ | 神様と周りの人に愛されていることが分かり、自分を大切にする気持ちをもつ。 |
| ＜思いやり＞ | 様々な人々との関わりを通して、思いやりの気持ちを育み共に生きる喜びを知る。 |
| ＜たくましさ＞ | 自然の中で思いきり遊び、感性やたくましい心と体を育む。 |
| ＜いのち＞ | 食に関わる体験を積み、いのちがつながりあい、支えられていることに感謝する。 |
| ＜表現力＞ | 自ら様々なことに取り組み、考えたり表現する力を身につける。 |
| ＜自立＞ | 生活に必要なことが分かり、自分から身に付けようとする。 |

◆保育の特色

- ① 自然の中での多様でダイナミックな体験を通して、活き活きとたくましく成長することを目指しています。
- ② 大学やその他の専門機関との連携により学問的根拠に裏づけられた、質の高い幼児教育・保育を実践し、子どもの健全な育ちを目指しています。
- ③ 皆で子どもの成長を助け喜びを共有するという意識に立って、子育て支援の充実、子育て環境の向上に努めています。

2 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

(1) 聖隷クリストファー大学、介護福祉専門学校

◆ 学生募集の推移

		入学 定員	2018 年度入学		2017 年度入学		2016 年度入学	
			志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
大 学 院	看護学研究科	15	18	17	16	14	13	11
	博士前期課程	10	11	11	10	10	6	5
	博士後期課程	5	7	6	6	4	7	6
	社会福祉学研究科	13	7	6	8	7	3	3
	博士前期課程	10	4	3	3	3	1	1
	博士後期課程	3	3	3	5	4	2	2
	リハビリテーション科学研究科	15	13	13	15	13	16	16
	博士前期課程	10	10	10	13	11	10	10
	博士後期課程	5	3	3	2	2	6	6
	大学院合計	43	38	36	39	34	32	30
大 学	看護学部	150	712	174	621	156	608	156
	看護学科	150	712	174	621	156	608	156
	助産学専攻科	15	29	17	32	17	35	17
	社会福祉学部	120	213	66	196	87	156	76
	社会福祉学科	40	104	36	90	34	81	36
	編入学	5	1	0	4	3	3	1
	介護福祉学科	25	33	6	26	11	9	4
	編入学	10	3	3	0	0	0	0
	こども教育福祉学科	40	72	21	76	39	63	35
	リハビリテーション学部	95	528	111	618	107	436	106
	理学療法学科	40	277	47	350	45	227	45
	作業療法学科	30	153	34	161	33	137	34
	言語聴覚学科	25	98	30	107	29	72	27
	大学合計	380	1,482	368	1,467	367	1,235	355
総 合 計		423	1,520	404	1,506	401	1,267	385

	入学 定員	2018 年度入学		2017 年度入学		2016 年度入学	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
介護福祉専門学校	40	21	21	29	26	25	22

◆ 国家試験合格率の推移

看護師・保健師・助産師国家試験の合格率（新卒者）

資格名	所属	2017 年度		2016 年度		2015 年度	
		全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
看護師	大学	96.3%	99.4%	96.5%	97.3%	97.6%	99.4%
保健師	大学	85.6%	88.7%	95.4%	100.0%	93.9%	93.8%
助産師	専攻科	99.4%	100.0%	93.2%	100.0%	99.8%	100.0%

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2017 年度		2016 年度		2015 年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
社会福祉士	54.6%	49.4%	46.3%	34.7%	47.0%	44.9%
精神保健福祉士	76.9%	76.5%	71.7%	69.2%	74.1%	100.0%

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2017 年度		2016 年度		2015 年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
理学療法士	87.7%	100.0%	97.5%	100.0%	87.0%	97.4%
作業療法士	85.2%	85.7%	92.1%	100.0%	95.0%	100.0%
言語聴覚士	79.3%	94.4%	92.1%	90.9%	86.9%	90.0%

介護福祉士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2017 年度		
	全国平均	社会福祉 学部介護 福祉学科	介護福祉 専門学校
介護福祉士	88.0%	93.3%	94.7%

◆ 卒業生・修了生の進路状況（大学）

2017 年度 卒業生・修了生の進路状況

看護学部卒業生の内訳

（単位：人）

卒業生数	158	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	150	看護師	129	101	28
		保健師	14	13	1
		養護教諭	5	4	1
		その他(*1)	2	2	0
進学者数	7				
その他(*2)	1				

(*1)「その他(*2)」は就職活動中の者 1 名です。

聖隷三方原病院…19 名、聖隷浜松病院…48 名、聖隷横浜病院…10 名、
浜松市リハビリテーション病院…3 名、袋井市立聖隷袋井市民病院…2 名、聖隷沼津病院…2 名
聖隷富士病院…1 名、聖隷保健事業部…9 名、訪問看護ステーション三方原…1 名
合計 95 名（就職者の 63.3%）

助産学専攻科修了生の内訳

修了生数	17	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	17	助産師	17	12	5

聖隷三方原病院…2 名、聖隷浜松病院…5 名、聖隷沼津病院…1 名、 合計 8 名（就職者の 47.1%）

社会福祉学部社会福祉学科、介護福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	54(社 38/介 16)	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	52 (社 37/介 15)		社/介	社/介	社/介
		福祉施設(*1)	25/14	23/13	2/ 1
		医療機関	8/ 0	5/ 0	0/ 0
		公務員	4/ 1	3/ 1	1/ 0
進学者数	1 (社 0/介 1)				
その他(*2)	1 (社 1/介 0)				

(*1) 聖隷福祉事業団への就職者は「福祉施設」に計上しました。

(*2)「その他」は就職を希望しない者 2 名です。

聖隷福祉事業団…6 名（就職者の 11.5%）

社会福祉学部こども教育福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	47	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数(*1)	45	公立幼稚園・保育園	4	4	0
		私立幼稚園	1	1	0
		こども園	9	9	0
		民間保育園	11	11	0
		社会福祉施設	19	18	1
		公務員	1	1	0

(*1) 聖隷福祉事業団（保育士）への就職者は、こども園 5 名、民間保育園 1 名と計上しました。

聖隷福祉事業団…7 名、小羊学園…1 名、 合計 8 名（就職者の 17.8%）

リハビリテーション学部卒業生の内訳

卒業生数	92	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	90	理学療法士	39	27	12
		作業療法士	30	19	11
		言語聴覚士	16	5	11
		その他	5	4	1
その他(*1)	2				

(*1)「その他」は就職活動中 1 名、就職しない者 1 名です。

聖隷福祉事業団…18 名（就職者の 20.0%）

◆ 就職支援（大学）

2017 年度 主な就職支援プログラム			
4 月	春セメスター進路ガイダンス 【看】進路ガイダンス 【看】看護師国試対策講座 【社・介・こ】施設説明会	10 月	公務員試験対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【OT】専門職者による就職講演会 【OT】就職先研究（聖隷福祉事業団）
5 月	【看】進路ガイダンス 【看】保健師ガイダンス	11 月	公務員試験対策講座 【看】看護師・保健師共通国試対策講座 【看】4 年次生による就職活動報告会 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】4 年次生による就職活動報告会 【こ】4 年次生による就職活動報告会 【PT・OT】リハビリテーション国試対策講座
6 月	公務員対策講座説明会 【OT・ST】進路ガイダンス	12 月	【社・介・こ】卒業生による福祉の仕事報告会 【こ】卒業生との懇談会 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【介】介護福祉士国試対策講座 【社・介・こ】SPI 対策模擬テスト 【社・介・こ】就職先研究（天竜厚生会） 【こ】就職先研究（聖隷福祉事業団）
7 月	【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【PT】進路ガイダンス	1 月	【看】進路ガイダンス 【看】看護師国試対策講座 【看】保健師国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【介】介護福祉士国試対策講座 【PT・OT】4 年次生による就職活動報告会
8 月	公務員試験対策講座 【看】看護師国試対策講座 【PT・OT・ST】進路ガイダンス 【PT・OT・ST】病院・施設説明会（静岡近隣県） 【PT・OT・ST】病院・施設説明会（聖隷関係） 【PT・OT・ST】メイクアップ講座 【PT・OT・ST】スーツ着こなし講座	2 月	卒業時ガイダンス 【看】進路ガイダンス 【看】卒業生と在学生との懇談会 【社・介・こ】履歴書の書き方・面接の受け方講座 【社・介・こ】SPI 対策模擬テスト 【社・介・こ】スーツ着こなし講座 【社・介・こ】メイクアップ講座 【PT・OT・ST】就職マナー・面接対策講座 【ST】専門職者による就職講演会 【ST】就職先研究（聖隷福祉事業団）
9 月	秋セメスター進路ガイダンス 公務員試験対策講座 【看】保健師国家試験対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座	3 月	論作文対策講座、筆記試験対策講座 【看】病院・施設説明会（聖隷関係） 【看】病院説明会（静岡県・愛知県東部） 【看】就職マナー・面接対策講座 【看】保健師国家試験対策講座 【社・介・こ】大規模法人就職説明会 【PT】専門職者による就職講演会 【PT】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【ST】4 年次生による就職活動報告会

※随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

※【看】：看護学部対象 【助】：助産学専攻科対象

【社】：社会福祉学科対象 【介】：介護福祉学科対象 【こ】：こども教育福祉学科対象

【PT】：理学療法学科対象 【OT】：作業療法学科対象 【ST】：言語聴覚学科対象

◆ 卒業生の進路状況（専門学校）

2017 年度 卒業生の進路状況

（単位：人）

卒業生数	19	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	16	介護福祉士	16	16	0
進学者数	3				

聖隷福祉事業団…12 名（就職者の 75.5%）

◆ 就職支援（専門学校）

2017 年度 主な就職支援プログラム			
4 月	春セミナー進路ガイダンス	10 月	2 年次生による就職活動報告会 履歴書の書き方・面接の受け方講座
5 月	社会人になるための基礎講座 就活マナー講座	11 月	
6 月	スーツ着こなし講座 メイクアップ講座	12 月	
7 月		1 月	
8 月	進路ガイダンス	2 月	就職内定後の心構え、社会人としての心構え講座 卒業時ガイダンス
9 月	進路ガイダンス	3 月	進路ガイダンス 聖隷福祉事業団採用試験説明会

※随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

◆2017 年度大学学部別・専門学校奨学金受給状況

○看護学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷奨学会	日本学生支援機構			静岡県看護協会	静岡県看護協会	浜松市奨学金	K.M.奨学金	M.H.奨学金	難波千鳥奨学金	合計	
				合計	一種	二種							貸与人数	受給割合
1 年次生	1		34	54	19	35	0	1	0	1			91	58.3%
2 年次生	3	1	48	65	33	32	0	0	1	0			118	75.6%
3 年次生	0	0	49	63	27	36	0	0	0	0	1	1	114	72.2%
4 年次生	1	1	73	53	22	31	0	0	0	0	1	0	129	78.7%
合計	5	2	204	235	101	134	0	1	1	1	2	1	452	71.3%

○助産学専攻科

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	聖隷奨学会	日本学生支援機構			静岡県看護職特別	静岡県看護協会	合計	
			合計	一種	二種			貸与人数	受給割合
1 年次生	0	7	1	0	1	0	0	8	47.1%

○社会福祉学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷奨学会	日本学生支援機構			静岡県介護福祉士	静岡県保育士	浜松市奨学金	難波千鳥奨学金	廣田育英会	K.M.奨学金	ニッセイ聖隷奨学金	合計	
				合計	一種	二種								貸与人数	受給割合
1 年次生	0		0	28	11	17	1	5	0		1	0	1	35	41.7%
2 年次生	1	0	0	21	7	14	1	5	0		0	0	0	28	36.8%
3 年次生	1	0	1	30	11	19	5	2	0	1	0	1	0	40	47.6%
4 年次生	0	1	1	34	14	20	1	1	1	0	0	0	0	39	37.1%
合計	2	1	2	113	43	70	8	13	1	1	1	1	1	142	40.7%

○リハビリテーション学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷奨学会	日本学生支援機構			浜松市奨学金	廣田育英会	合計	
				合計	一種	二種			貸与人数	受給割合
1 年次生	0		0	52	28	24	2	0	54	50.5%
2 年次生	1	0	3	53	18	35	1	0	58	55.8%
3 年次生	1	1	3	33	11	22	0	0	38	35.8%
4 年次生	0	2	0	37	13	24	0	0	39	39.4%
合計	2	3	6	175	70	105	3	0	189	45.4%

○大学院博士前期課程

学年	日本学生支援機構			静岡県看護職員修学資金	合計	
	合計	一種	二種		貸与人数	受給割合
1 年次生	2	1	1	4	6	25.0%
2 年次生	1	0	1	2	3	12.0%
合計	3	1	2	6	9	18.4%

○大学院博士後期課程

学年	日本学生支援機構			合計	
	合計	一種	二種	貸与人数	受給割合
1 年次生	0	0	0	0	-
2 年次生	0	0	0	0	-
3 年次生	0	0	0	0	-
合計	0	0	0	0	-

○介護福祉専門学校

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	日本学生支援機構			静岡県介護福祉士修学資金	聖隷介護奨学金	クリストファー介護福祉士奨学金	天竜厚生会介護福祉士奨学金	合計	
		合計	一種	二種					貸与人数	受給割合
1 年次生	0	2	0	2	5	10	3	0	20	76.9%
2 年次生	1	0	0	0	5	11	0	1	18	85.7%
合計	1	2	0	2	10	21	3	1	38	80.9%

※受給割合は、学生数に対する受給者の延べ人数の割合を示す

※受給割合は、2018 年 2 月時点データ

※聖隷奨学会は聖隷病院就職内定者の奨学金受給者を含む

◆国際交流

2017 年度の本学の交流協定締結校は、サミュエルメリット大学（米国）、ナンヤン理工学院（シンガポール）、第三軍医大学（中国）、カトリックサンジ大学（韓国）の 4 校に加えて、新たに 2017 年 9 月にシンガポール工科大学、2018 年 1 月にオーストラリア・パース市にあるイーデス・コーワン大学とそれぞれ大学間交流協定締結の調印式を行い、合計 6 校となりました。

2017 年度は、学生主体の国際交流として下記の派遣・受入れプログラムを実施しました。2018 年 3 月のナンヤン理工学院研修生受入れ時には、「各国の高齢者の課題と教育機関における戦略」をテーマに本学初の「第 1 回国際シンポジウム」を開催しました。

また、研究者派遣については、サミュエルメリット大学へ看護学部教員 1 名を派遣しました。外国人研究者の受入れについては、サミュエルメリット大学より看護学部教員 1 名、ナンヤン理工学院よりヘルスサイエンス学部看護学科教員 1 名を受入れました。

【学生派遣】

プログラム		期間	対象	受入機関	参加学生	引率/巡回
海外研修	シンガポール海外研修	9 日間	全学部 全学年	ナンヤン理工学院 (シンガポール)	看護 3 年 1 名 看護 2 年 5 名 看護 1 年 7 名 OT2 年 3 名 こども 2 年 4 名 計 20 名	教職員 2 名
	アメリカ看護研修	11 日間	看護学部 2・3 年次生	サミュエルメリット大学 (米国)	看護 2 年 8 名 計 8 名	教員 2 名
	アメリカ言語聴覚学研修	10 日間	リハビリテーション学部 言語聴覚学科生	ハワイ大学マノア校 (米国)	ST1 年 8 名 計 8 名	教員 1 名
	海外英語研修 (個人参加)	4 週間	全学部 全学年	Colegio San Agustin-Bacolod 附属 集中英語プログラム (フィリピン)	こども 1 年 1 名 計 1 名	—
国際実習	国際看護実習	2 週間	看護学部 4 年次生	ナンヤン理工学院 (シンガポール)	看護 4 年 2 名 計 2 名	教員 1 名
	国際理学療法実習	9 日間	リハビリテーション学部 理学療法学科生	中山大学 (中国)	PT3 年 2 名 PT2 年 1 名 計 3 名	教員 2 名
	国際作業療法実習	2 週間	リハビリテーション学部 作業療法学科生	ナンヤン理工学院 (シンガポール)	OT3 年 1 名 計 1 名	教員 1 名

【学生受入れ】

プログラム		期間	対象	研修・実習先	参加者
研修	Samuel Merritt University Study Visit	9 日間	サミュエルメリット大学 看護学部生	聖隷三方原病院、聖隷ホスピス、和合せいれいの里、訪問看護ステーション（住吉、住吉第2、三方原、細江）	10 名 教員 2 名
	Texas A&M International University Study Visit	2 日間	Texas A&M International University 教育学部／コミュニケーション障害コース生	浜松中部学園、聖隷クリストファーこども園	10 名 教員 1 名
	Nanyang Polytechnic Study Visit	7 日間	ナンヤン理工学院 ヘルスサイエンス学部／看護学科生、社会福祉学科生	ゆうゆうの里、聖隷三方原病院、聖隷ホスピス、聖隷おおぞら療育センター、浜松市リハビリテーション病院、復泉会、根洗学園、きじの里、ひきこもりサポートセンターこだま	看護学科生 10 名 社会福祉学科生 14 名 教員 3 名
実習	Nanyang Polytechnic Nursing Overseas Clinical Attachment Program	4 週間	ナンヤン理工学院 ヘルスサイエンス学部／看護学科生	聖隷三方原病院、聖隷おおぞら療育センター、聖隷浜松病院、浜名湖エデンの園、訪問看護ステーション貴布祢	2 名

【教員研修派遣】

■訪問先：アメリカ・サミュエルメリット大学

期 間：2018 年 3 月 15 日（木）～3 月 25 日（日）11 日間

内 容：研究者交流、授業見学、シミュレーション教育に関する意見交換、関連病院・施設の見学など

研修者：看護学部教員 1 名（成人看護）

【教員研修受入れ】

■アメリカ・サミュエルメリット大学教員の受入れ

期 間：2017 年 6 月 6 日（火）1 日間

内 容：よこさわ助産院

研修者：看護学部教員 1 名（母性看護）

■シンガポール・ナンヤン理工学院教員の受入れ

期 間：2018 年 3 月 7 日（水）～3 月 9 日（金）、3 月 19 日（月）、3 月 20 日（火）5 日間

内 容：聖隷三方原病院シャドーイング、大学での講義、浜松十字の園あんき・のんき、クリニックダダ

研修者：ヘルスサイエンス学部看護学科教員 1 名（精神看護）

(2) 聖隷クリストファー高等学校

◆ 生徒募集の推移

(単位：人)

	入学定員	2018 年度入学者 (2017 年度募集)		2017 年度入学者 (2016 年度募集)		2016 年度入学者 (2015 年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
普通科・英数科	294	1,140	263	1,067	253	1,341	314

※中学校からの内進生を含みます。

◆ 卒業生の進路状況

(単位：人)

	大学	短期大学	専門学校	受験準備	就職	留学	未定	合計
男子	73	1	18	3	8	0	2	105
女子	82	14	39	4	16	0	1	156
合計	155	15	57	7	24	0	3	261
比率	59.4%	5.8%	21.8%	2.7%	9.2%	0.0%	1.1%	100.0%

大学合格実績

《国公立大学 26 名》 北海道大（保健/検査技術）1 名、横浜国立大 1 名、首都大東京 1 名、横浜市立大（看護）1 名、静岡大 3 名、浜松医大（看護）1 名、静岡文化芸術大 2 名、静岡県立大（国際関係、看護）2 名、電気通信大 1 名、信州大 1 名、都留文科大 2 名、新潟県立大 1 名、岡山県立大 1 名、広島市立大 1 名、福岡県立大 1 名、島根県立大 1 名、秋田県立大 1 名、長岡造形大 1 名、北見工業大 1 名、室蘭工業大 1 名、諏訪東京理科大 1 名

《私立大学 237 名》 国際基督教大 1 名、早稲田大 1 名、慶應義塾大（看護）1 名、上智大（看護）1 名、明治大 1 名、青山学院大 1 名、法政大 4 名、関西学院大 2 名、立命館 6 名、南山大 2 名、明治学院大 3 名、獨協大 1 名、日本大 5 名、大東文化大 1 名、東海大 5 名、亜細亜大 2 名、帝京大 1 名、国士舘大 2 名、近畿大 7 名、神奈川大 2 名、中京大 1 名、名城大 6 名、愛知大 4 名、愛知医科大（看護）1 名、愛知学院大 9 名、他

就職実績

《就職内定者 24 名》 静岡県警察 1 名、航空自衛隊 2 名、スズキ 3 名、ヤマハ発動機 1 名、アスモ 1 名、朝日電装 1 名、グランドホテル浜松 1 名、他

◆ 国際交流

派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校語学研修プログラム(3か月)	アメリカへ3名	
本校から私費留学	フィリピンへ1名・イギリスへ1名 オーストラリアへ1名 マルタへ1名・カナダへ1名	アメリカ 1名 2017 年 9 月～現在継続中
県教委主催海外体験促進事業(語学研修)	なし	
受入れ留学生	2017 年 11 月～2018 年 1 月オーストラリアから1名	2016 年 9 月～2017 年 7 月 スペインから1名 ポルトガルから1名 2017 年 9 月～現在 フランスから1名

◆ 部活動の主な実績

高校・中学	
部活動名	2017年度 主な実績
男子 バレーボール部	第65回静岡県高等学校総合体育大会バレーボール競技 西部地区予選 優勝 第65回静岡県高等学校総合体育大会バレーボール競技 県大会 準優勝 第64回東海高等学校総合体育大会バレーボール競技 ベスト8 静岡県西部高等学校バレーボール選手権大会 優勝 第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会 静岡県予選大会 ベスト4 静岡県高等学校新人体育大会バレーボール競技西部地区大会 優勝 静岡県高等学校新人体育大会バレーボール競技県大会 ベスト4
男子 サッカー部	第65回静岡県高等学校総合体育大会サッカー競技 県大会ベスト16 第96回高校選手権静岡県大会 ベスト16 静岡県高校サッカー新人大会 西部地区大会 優勝 静岡県高校サッカー新人大会 県大会出場
野 球	第64回春季東海地区高等学校野球西部地区大会 出場 第99回全国高校野球選手権静岡大会 出場 第70回秋季東海地区高等学校野球西部地区大会 敗者復活トーナメント4回戦進出 第1回浜松市内高等学校野球大会 準優勝 第65回春季東海地区高等学校野球静岡県西部地区大会 3位 第65回春季東海地区高等学校野球静岡県大会 2回戦進出
女子 ソフトボール部	平成29年度 静岡県高等学校総合体育大会 県大会 ベスト8 平成29年度 静岡県高等学校女子ソフトボール大会県大会 ベスト16 第51回静岡県高等学校女子ソフトボール新人大会西部地区予選 ベスト4 第51回静岡県高等学校女子ソフトボール新人大会 県大会 出場
少林寺拳法部	第65回静岡県高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技 男子単独演武 1位・2位 男子組演武 2位 男子団体演武 1位 女子単独演武 1位・2位 女子組演武 1位・2位 女子団体演武 1位 平成29年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会 (団体演武)女子3位 (組演武)女子3位 少林寺拳法70周年記念 2017少林寺拳法世界大会 in カリフォルニア, USA 女子単演級拳士の部 4位 平成29年度静岡県高等学校新人体育大会少林寺拳法競技 男子自由単独演武 2位 男子規定単独演武 2位 男子自由組演武 1位・2位 男子規定組演武 1位 男子団体演武 1位 女子自由単独演武 1位 女子規定単独演武 1位 女子自由組演武 1位・2位 女子団体演武 1位 第21回全国高等学校少林寺拳法選抜大会 男子自由単独演武3位、女子団体演武5位

高校・中学	2017年度 主な実績
吹奏楽部	第58回静岡県吹奏楽コンクール西部大会(A編成) 銅賞 第60回中部日本吹奏楽コンクール静岡県大会 高等学校大編成の部 銀賞 第23回日本管楽合奏コンテスト 予選審査会 高等学校A部門 優秀賞 静岡県高等学校総合文化祭吹奏楽部門 優秀賞 浜松市「青少年の表彰」 団体部門 善行賞 第51回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト西部大会 クラリネット4重奏 金賞、ホルン4重奏 銅賞、フルート3重奏 銀賞 第51回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト静岡県大会 クラリネット4重奏 銀賞 第19回中部日本個人重奏コンテスト静岡県大会 サックス2重奏 銅賞、 トランペット5重奏 銅賞、クラリネット独奏 銅賞、フルート独奏 銀賞
放送部	第64回NHK杯高校放送コンテスト県大会 テレビドキュメント部門 優勝 第2回聖書動画コンテスト2017 特別審査賞
かるた	第5回奥の細道結びの地全国競技かるた大垣大会 個人戦 E3級 2位 全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 個人戦 2名出場 第29回静岡県高等学校かるた選手権大会 団体戦Ⅱ部リーグ 優勝、3位(2チーム)
書道	第16回岐阜女子大学全国書道展 特賞2名、優秀賞5名、秀作賞4名、努力賞4名 日本書道専門学校主催第39回千字文大会 高校漢字半紙の部 優秀2名、秀作3名、佳作6名 中学半紙の部 特選1名、秀作1、佳作2名 第35回富士山学生書写書道展 毎日新聞静岡支局長賞 1名 審査委員長賞 1名 奨励賞 1名 第58回大東文化大学全国書道展 条幅の部 特賞1名、金賞3名、銀賞5名、銅賞3名 半紙の部 金賞1名、銀賞2名、銅賞1名 平成29年度静岡県高等学校総合文化祭 団体の部 出品

(3) 聖隷クリストファー中学校

◆ 生徒募集の推移

	入学定員	2018年度入学者 (2017年度募集)		2017年度入学者 (2016年度募集)		2016年度入学者 (2015年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
中学校	70	58	47	73	45	75	50

◆ 国際交流

派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校から私費留学	なし	なし

(4) 聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

◆ 年間行事

日付	内容
4月 1日(土)	保育開始
7日(金)	1学期始園日
8日(土)	入園式(58名入園)
18日(火)	ホンダ訪問サッカースクール(5歳児)
19日(水)	イースター礼拝・誕生会
21日(金)	視力検査(5歳児)
22日(土)	理事長講話、こども園保護者会総会、クラス懇談会
25日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
26日(水)	
5月 9日(火)	視力検査(4歳児)
10日(水)	母の日礼拝・誕生会
15日(月)	健康診断
16日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
17日(水)	
25日(木)	園外保育(4歳児) フラワーパーク
26日(金)	
27日(土)	入園説明会(次年度入園希望3歳児対象)
30日(火)	尿検査
6月 1日(木)	園外保育 ジョン・カミツカ氏 コンサート(5歳児)
6日(火)	オープン保育デー(5歳児)
7日(水)	
8日(木)	歯科検診
14日(水)	花の日礼拝・誕生会
15日(木)	花の日施設訪問
20日(火)	プール開き、オープン保育デー(4歳児) 園外保育(5歳児) 里山体験
21日(水)	オープン保育デー(4歳児) 園外保育(5歳児) 里山体験
27日(火)	オープン保育デー(3歳児)
28日(水)	
29日(木)	
7月 5日(水)	月礼拝・誕生会
8日(土)	サマーフェスタ
11日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
12日(水)	
14日(金)	1学期終園日
21日(金)	5歳児お泊り保育(かなな野外活動センター)
22日(土)	
8月 1日(火)	小学1年生 同窓会
9月 1日(金)	2学期始園日、防災引渡訓練
5日(火)	プール納め 園外保育(5歳児) 里山体験
6日(水)	月礼拝・誕生会
8日(金)	園外保育(5歳児) 里山体験
13日(水)	インド聖隷希望の家デイルさんとの交流(5歳児)
21日(木)	聖隷クリストファー中・高等学校体育大会へ参加(5歳児)
25日(月)	健康診断
10月 5日(木)	アフリカ幼児教育者 見学受入れ
7日(土)	プレイデー(運動会、3.4.5歳児) 於:中高ソフトボール場

日付	内容
10月 11日(水)	園外保育(5歳児) 親子里山体験
13日(金)	
16日(月)	食育講座「魚さばき」(5歳児)
18日(水)	月礼拝・誕生会
23日(月)	歯磨き指導教室(5歳児)
25日(水)	園外保育(3-5歳児) 浜松市動物園
28日(土)	プレイデー(運動会、0.1.2歳児) 於:園庭
11月 2日(木)	保護者対象食育講座[静岡県主催]
7日(火)	プレイデー(運動会、満3歳児) 於:園庭
8日(水)	収穫感謝礼拝
9日(木)	収穫感謝訪問(浜名湖エデン園、アドナイ館他訪問) アジア学院との交流(5歳児)
10日(金)	野外パーティー
11日(土)	幼児祝福式(3.5歳児希望者) 於:遠州栄光教会
25日(土)	入園・進級オリエンテーション(次年度3歳入園・進級者対象)
12月 1日(金)	保護者会クリスマス
9日(土)	クリスマスのつどい(4.5歳児)
13日(水)	学園クリスマスツリー点火祭(5歳児)
15日(金)	2学期終園日
16日(土)	クリスマスのつどい(0.1.2.3歳児)
22日(金)	大掃除
1月 9日(火)	3学期始園日
10日(水)	園外保育(5歳児) 里山体験
12日(金)	
17日(水)	月礼拝・誕生会
30日(火)	オープン保育デー(5歳児)
31日(水)	
2月 2日(金)	節分パーティー
5日(月)	交通安全教室(4.5歳児)
6日(火)	オープン保育デー(4歳児)
7日(水)	
9日(金)	人形劇(むすび座)[保護者会主催]
10日(土)	親子運動遊び(きののいい羊)[保護者会主催]
13日(火)	オープン保育デー(3歳児)
14日(水)	
15日(木)	
16日(金)	クリストファー中学校3年生との交流会(家庭科おもちゃ制作)
21日(水)	月礼拝・誕生会
23日(金)	気賀小学校1年生を迎える会
24日(土)	クラス懇談会、保護者会役員会
27日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
28日(水)	
3月 2日(金)	ひなまつりパーティー
7日(水)	月礼拝・誕生会
9日(金)	卒園遠足(5歳児) 豊橋市:のんほいパーク
13日(火)	年長お別れ会、お別れパーティー 園外保育(4歳児) 里山体験
14日(水)	園外保育(4歳児) 里山体験
15日(木)	卒園礼拝
16日(金)	3学期終園日
17日(土)	卒園式(52名卒園)

3 施設等の状況（2018年3月31日現在）

（1）現有施設の状況

土地

所在地	面積等	取得価額	摘要
静岡県浜松市北区三方原町 3453	501 m ²	32,585 千円	小学校校舎建設予定地
	41,813 m ²	434,456 千円	聖隷クリストファー大学キャンパス
	70,269 m ²	2,137,418 千円	聖隷クリストファー中高キャンパス
静岡県浜松市北区三方原町 2762	4,290 m ²	70,945 千円	クリストファーこども園（園舎・園庭）
合 計	116,873 m ²	2,675,405 千円	

校舎等

所在地	施設等（建物名称）	面積等	取得価額	帳簿価額
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	聖隷クリストファー大学（1号館）	9,068 m ²	2,322,619 千円	1,003,036 千円
	〃 （2号館）	4,026 m ²	694,107 千円	384,708 千円
	〃 （3号館）	4,727 m ²	887,681 千円	518,262 千円
	〃 （4号館）	1,199 m ²	194,260 千円	64,313 千円
	〃 （旧5号館旧棟）	2,623 m ²	305,909 千円	84,726 千円
	〃 （5号館）	5,134 m ²	948,396 千円	815,655 千円
	〃 （機械室）	11 m ²	1,124 千円	399 千円
	〃 （学生・同窓会館）	964 m ²	155,433 千円	54,719 千円
	〃 （キリスト教センター）	78 m ²	19,749 千円	8,593 千円
	〃 （第一体育館）	781 m ²	237,883 千円	124,799 千円
	〃 （第二体育館）	495 m ²	46,702 千円	18,844 千円
	〃 （第一テニスクラブハウス）	35 m ²	10,754 千円	1,538 千円
聖隷クリストファー大学 合計		29,141 m ²	5,824,616 千円	3,079,592 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	専門学校棟	574 m ²	160,760 千円	114,569 千円
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 合計		574 m ²	160,760 千円	114,569 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	聖隷クリストファー中・高等学校（校舎）	9,347 m ²	1,618,061 千円	1,033,620 千円
	〃 （体育館）	4,369 m ²	764,276 千円	485,031 千円
	〃 （総合運動場クラブハウス）	176 m ²	34,011 千円	17,926 千円
	〃 （第二テニスクラブハウス）	106 m ²	17,379 千円	10,623 千円
	〃 （サッカー場クラブハウス）	193 m ²	36,003 千円	14,139 千円
	〃 （野球部部室）	62 m ²	20,855 千円	10,522 千円
	〃 （ガス整圧室、ポンプ室）	15 m ²	29,800 千円	10,936 千円
	〃 （ソフトボール場倉庫）	65 m ²	1,614 千円	712 千円
聖隷クリストファー中・高等学校 合計		14,333 m ²	2,521,997 千円	1,583,510 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 2762	クリストファーこども園園舎	2,139 m ²	502,093 千円	400,048 千円
聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 合計		2,139 m ²	502,093 千円	400,048 千円
総 合 計		45,613 m ²	9,009,466 千円	5,177,718 千円

（2）主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

小学校校舎建設予定の土地を購入しました。

4 その他

特に記載すべき事項はありません。

3 財務の概要

1 決算の概要

(1) 貸借対照表の状況

貸借対照表は資産（土地や建物など）が何によってどのようなバランスで賄われているかを表し、財務の健全性を示したものです。

校舎建設、土地購入などによる借入金のための負債の割合が高いですが、総資産の 69.9%は自己資金で賄われていることにより、財務の安定性は十分な余力があることがわかります。

また、借入金は現状のキャッシュフローにおいて最短約 3 年での全額返済が可能であり、十分な返済能力を備えていると認識しております。

(単位:百万円)

資産の部合計	14,235	負債の部合計	4,279
(主な内容)	(現金預金 4,928) (土地 2,675) (建物 5,178)	(主な内容)	
		(借入金 2,107)	
		(前受金 1,517)	
		自己資金 9,956	

【有利子負債返済可能年数】

$$\frac{\text{借入金 } 2,107 \text{ 百万円}}{\text{学校運営にかかるキャッシュフロー } 628 \text{ 百万円}} = 3.40 \text{ 年}$$

(2) 収支計算書の状況

資金収支計算書、活動区分資金収支計算書

「資金収支計算書」は学校法人の資金の出入りを表す財務諸表で、一般企業のキャッシュフロー計算書に類するものです。2015 年度から学校法人会計基準の改正に伴い、新たに活動区分ごとの資金の流れがわかる「活動区分資金収支計算書」の作成が義務付けられました。

下記は活動区分ごとの示した表となっております。

2017 年度は教育研究活動により発生した資金は 6 億 2770 万円でした。施設・設備投資には小学校校舎建設予定地購入を含め 1 億 188 万円を充当しました。

これら法人全体の事業活動により、前年度より資金が約 3 億円増加しました。現状、経営実績は安定して推移しているといえます。

(単位:百万円)

I 教育研究活動による資金収支	628
II 施設等整備活動による資金収支	△119
III その他の活動による資金収支	△207
支払資金増加額(I + II + III)	302
前年度繰越支払資金	4,626
翌年度繰越支払資金	4,928

①活動区分資金収支計算書

(単位:円)

		科 目	金額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,626,446,320	
		手数料収入	58,454,630	
		特別寄付金収入	62,183,889	
		一般寄付金収入	3,255,587	
		經常費等補助金収入	823,102,434	
		付随事業収入	12,137,650	
		雑収入	93,775,901	
		教育活動資金収入計	3,679,356,411	
	支出	人件費支出	2,266,937,357	
		教育研究経費支出	503,686,226	
		管理経費支出	233,704,406	
		教育活動資金支出計	3,004,327,989	
	差引		675,028,422	
	調整勘定等		△ 46,207,308	
	教育活動資金収支差額		628,821,114	I
施設整備等活動による資金収支	科 目		金額	
	収入	施設設備寄付金収入	216,328	
		施設設備補助金収入	288,600	
		施設設備売却収入	300,000	
		施設整備等活動資金収入計	804,928	
	支出	施設関係支出	45,996,338	
		設備関係支出	57,002,268	
		施設整備等活動資金支出計	102,998,606	
	差引		△ 102,193,678	
	調整勘定等		△ 17,422,914	
	施設整備等活動資金収支差額		△ 119,616,592	II
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)			509,204,522	

(単位:円)

科 目		金 額
その他の活動による資金収支	収入	
	奨学貸付金回収収入	11,520,600
	小計	11,520,600
	受取利息・配当金収入	1,394,288
	過年度修正収入	817,768
	その他の活動資金収入計	13,732,656
	支出	
	借入金等返済支出	154,860,000
	みなし退職引当特定資産繰入支出	18,375,000
	預り金支払支出	1,085,578
	立替金支出	1,174,343
	預託金支出	59,270
	奨学貸付金支払支出	10,188,000
	小計	185,742,191
	借入金等利息支出	32,329,701
	過年度修正支出	670,150
	その他の活動資金支出計	218,742,042
	差引	△ 205,009,386
	調整勘定等	△ 1,514,875
	その他の活動資金収支差額	△ 206,524,261
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		302,680,261
前年度繰越支払資金		4,625,701,913
翌年度繰越支払資金		4,928,382,174

Ⅲ

②事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は学校運営の収入と支出の内容を表したもので、一般企業の損益計算書に類するものです。

事業活動収支差額は2億9000万円のプラスとなりました。この収支差額は2017年度第一次補正額よりも2億1200万円改善しています。

(単位:千円)

科 目		法人	大学	高校	中学	こども園	専門	合計
事業活動収入	学生生徒等納付金	0	2,110,054	359,726	64,995	50,521	41,280	2,626,576
	手数料(入学検定料含む)	0	40,533	16,507	930	0	484	58,454
	寄付金	40	30,953	29,489	4,958	0	0	65,440
	補助金	0	289,620	317,026	48,519	165,663	2,274	823,102
	付随事業・雑収入等	1,116	68,533	21,165	1,186	13,458	462	105,920
	教育活動外収入(受取利息等)	0	963	284	46	85	16	1,394
	特別収入(施設設備、現物寄付金等)	0	6,612	3,022	43	0	0	9,677
合 計		1,156	2,547,268	747,219	120,677	229,727	44,516	3,690,563
事業活動支出	人件費	59,301	1,526,845	423,036	88,820	153,670	33,089	2,284,761
	教育研究経費	0	512,030	192,000	21,545	55,592	15,169	796,336
	(うち減価償却額)	0	163,873	95,010	4,750	23,381	5,635	292,649
	管理経費	49,494	121,164	61,849	17,289	8,552	5,225	263,573
	(うち減価償却額)	12,765	4,739	684	94	651	48	18,981
	徴収不能額等	0	0	129	0	0	0	129
	教育活動外支出(借入金利息等)	0	9,653	22,677	0	0	0	32,330
	特別支出(資産処分差額等)	1,370	20,359	527	381	15	0	22,652
合 計		110,165	2,190,051	700,218	128,035	217,829	53,483	3,399,781
経 常 収 支 差 額		△ 107,638	370,963	44,505	△ 7,020	11,913	△ 8,967	303,756
事 業 活 動 収 支 差 額		△ 109,009	357,217	47,001	△ 7,358	11,898	△ 8,967	290,782

2 経年比較

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	2013年度末	2014年度末	2015年度末	2016年度末	2017年度末
固定資産	9,737,756	9,527,116	9,417,957	9,408,802	9,214,009
流動資産	3,739,874	4,216,659	4,432,591	4,712,562	5,021,384
資産の部合計	13,477,631	13,743,776	13,850,549	14,121,365	14,235,394
固定負債	2,764,380	2,645,394	2,528,692	2,524,867	2,400,461
流動負債	1,910,957	1,967,774	1,949,559	1,931,381	1,879,035
負債の部合計	4,675,338	4,613,169	4,478,252	4,456,249	4,279,496
基本金	12,665,510	12,899,888	13,205,058	13,567,384	13,829,920
繰越収支差額	△ 3,863,217	△ 3,769,281	△ 3,832,761	△ 3,902,268	△ 3,874,022
純資産の部合計	8,802,292	9,130,607	9,372,297	9,665,116	9,955,898
負債及び純資産の部合計	13,477,631	13,743,776	13,850,549	14,121,365	14,235,394

(2) 収支計算書

① 資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
学生生徒等納付金収入	2,537,823	2,625,497	2,602,778	2,628,743	2,626,446
手数料収入	63,143	56,088	57,250	57,895	58,454
寄付金収入	56,852	63,188	49,814	52,527	65,655
補助金収入	728,665	741,375	737,951	814,366	823,391
資産売却収入	150	400	540	0	300
付随事業・収益事業収入	2,752	1,587	18,597	11,367	12,137
受取利息・配当金収入	1,182	1,819	1,633	1,355	1,394
雑収入	98,385	147,534	139,129	66,208	94,593
借入金等収入	0	0	0	170,000	0
前受金収入	1,541,465	1,514,396	1,513,973	1,541,909	1,516,781
その他の収入	115,944	112,307	150,638	91,896	69,048
資金収入調整勘定	△ 1,516,114	△ 1,675,172	△ 1,593,851	△ 1,571,491	△ 1,604,298
前年度繰越支払資金	3,319,442	3,621,059	4,048,149	4,329,499	4,625,701
収入の部合計	6,949,691	7,210,083	7,726,605	8,194,277	8,289,605

支出の部	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
人件費支出	2,103,824	2,234,222	2,260,817	2,230,470	2,266,937
教育研究経費支出	469,378	455,548	478,404	485,915	503,686
管理経費支出	196,366	228,736	238,581	245,799	234,374
借入金等利息支出	37,608	34,893	32,540	34,414	32,329
借入金等返済支出	126,150	116,150	144,860	154,340	154,860
施設関係支出	38,084	60,298	152,896	251,823	45,996
設備関係支出	127,311	59,648	71,846	75,800	57,002
資産運用支出	0	0	0	0	18,375
その他の支出	425,525	188,559	225,535	212,531	155,629
資金支出調整勘定	△ 195,614	△ 216,124	△ 208,375	△ 122,519	△ 107,967
次年度繰越支払資金	3,621,059	4,048,149	4,329,499	4,625,701	4,928,382
支出の部合計	6,949,691	7,210,083	7,726,605	8,194,277	8,289,605

※2014年度以前については、新会計基準に基づき組み替えて表記しています

② 事業活動収支計算書

(単位:千円)

科目 \ 年度		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
事業活動収入	学生生徒等納付金	2,537,823	2,625,497	2,602,778	2,629,443	2,626,576
	手数料	63,144	56,089	57,250	57,896	58,454
	寄付金	60,308	69,135	48,907	52,311	65,440
	経常費等補助金	728,665	741,375	737,952	811,503	823,102
	付随事業収入	2,753	1,587	18,598	11,367	12,137
	雑収入	98,391	147,535	139,136	66,209	93,783
	教育活動外収入(受取利息等)	1,182	1,820	1,633	1,355	1,394
	特別収入(施設設備、現物寄付金等)	150	400	10,123	12,043	9,677
合計		3,492,415	3,643,438	3,616,376	3,642,127	3,690,563
科目 \ 年度		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
事業活動支出	人件費	2,128,329	2,262,894	2,264,545	2,218,779	2,284,761
	教育研究経費	772,630	746,666	781,828	795,156	796,336
	管理経費	234,076	270,670	266,724	273,810	263,573
	徴収不能額等	0	0	0	788	129
	教育活動外支出(借入金利息等)	37,609	34,894	32,540	34,414	32,330
	特別支出(資産処分差額等)	163,733	0	29,050	26,361	22,652
合計		3,336,377	3,315,124	3,374,686	3,349,308	3,399,781
基本金組入前当年度収支差額		156,038	328,314	241,690	292,819	290,782
基本金組入額合計		△ 112,341	△ 234,379	△ 305,170	△ 363,100	△ 264,755
当年度収支差額		43,697	93,936	△ 63,480	△ 70,281	26,027
前年度繰越収支差額		△ 3,906,914	△ 3,863,217	△ 3,769,281	△ 3,832,761	△ 3,902,269
基本金取崩額		0	0	0	774	2,219
翌年度繰越収支差額		△ 3,863,217	△ 3,769,281	△ 3,832,761	△ 3,902,269	△ 3,874,023
経常収支差額		319,621	327,914	260,617	307,137	303,756
事業活動収支差額		156,038	328,314	241,690	292,819	290,782

※2014 年度以前については、新会計基準に基づき組み替えて表記しています

3 主な財務比率比較

＜学校法人全体の主要財務指標の内容＞

ここでは主に下記の指標を用いて 2017 年度決算における経営状況および改善傾向を把握することができます。2015 年度からは学校法人会計基準改正に伴い、財務比率も変更となっています。

①収容定員充足率 = 学生現員 ÷ 収容定員

定員に対する学生数の割合を示したものです。100%であることが理想です。

②経常収支差額比率 = 経常収支差額 ÷ 経常収入

※2014 年度以前は「帰属収支差額比率」からの組み替えて表示してあります。

③流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債

短期的な資金繰りの余裕度合を表したもので、150～200%が理想的です。

④運用資産余裕比率 = (運用資産^{*1} - 外部負債^{*2}) ÷ 経常支出 …法人全体のみ

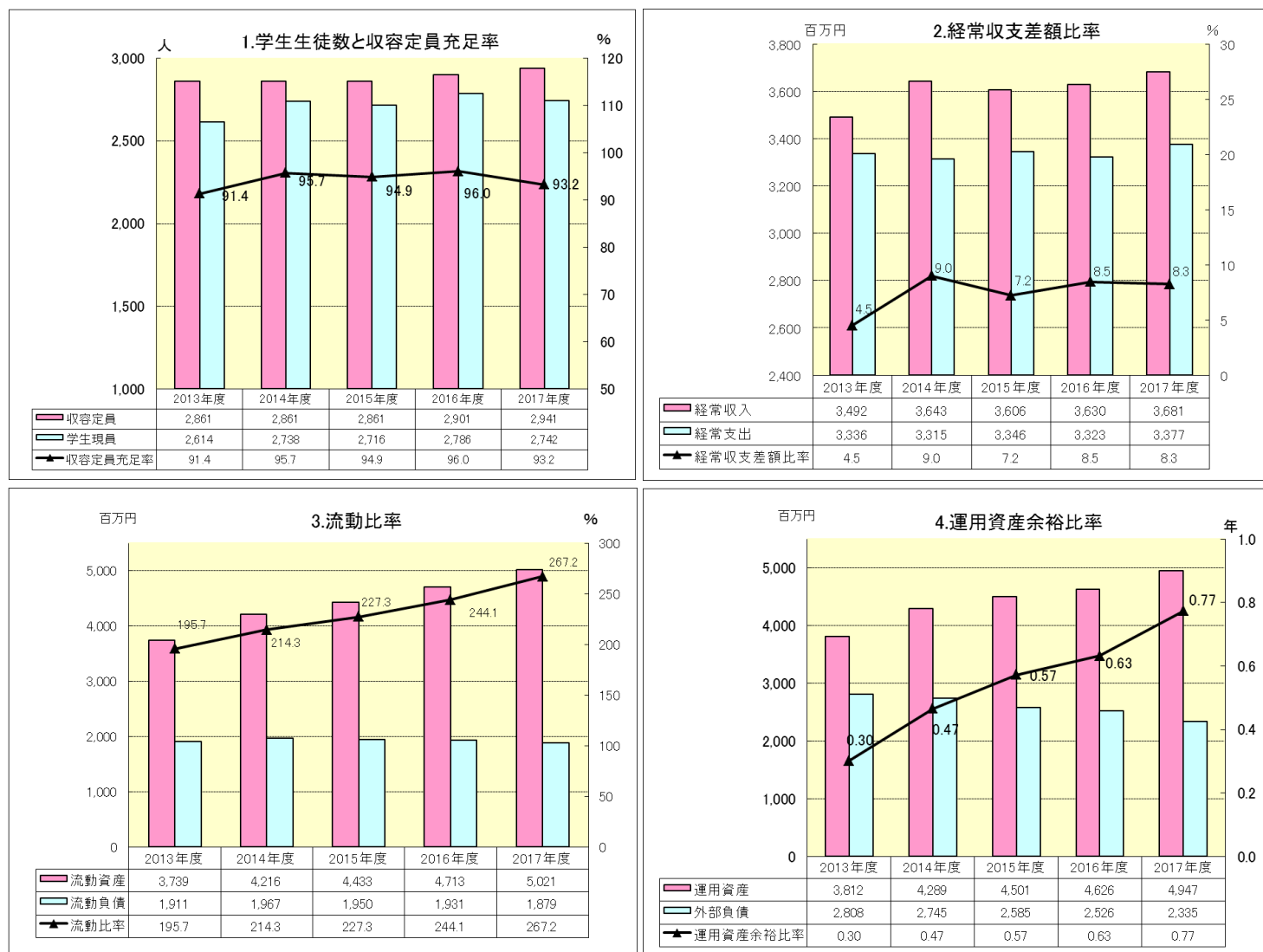
*1 運用資産=現預金+特定預金 *2 外部負債=総負債-退職給与引当金-前受金

実質的な運用資産を年間の支出に対してどれだけ保有しているかを示すものです。

法人全体

2017 年度は学生・生徒・園児数が 44 名減少し、収容定員充足率は 93.2%となりました。経常収支差額比率は 8.3%、流動比率は 267.2%、運用資産余裕比率は 0.77 年となっております。

2017 年度決算(法人全体)



◆ 各学校の主要財務指標の内容

学校別の財務内容については下記指標を用いて算出しました。

①収容定員充足率 $= \text{学生(生徒・園児)現員} \div \text{収容定員}$

②人件費比率 $= \text{人件費} \div \text{経常収入}$
 経常収入に対する教職員の人件費の割合を表したものです。

※2014年度以前は「人件費÷帰属収入」で算出した比率となっています。

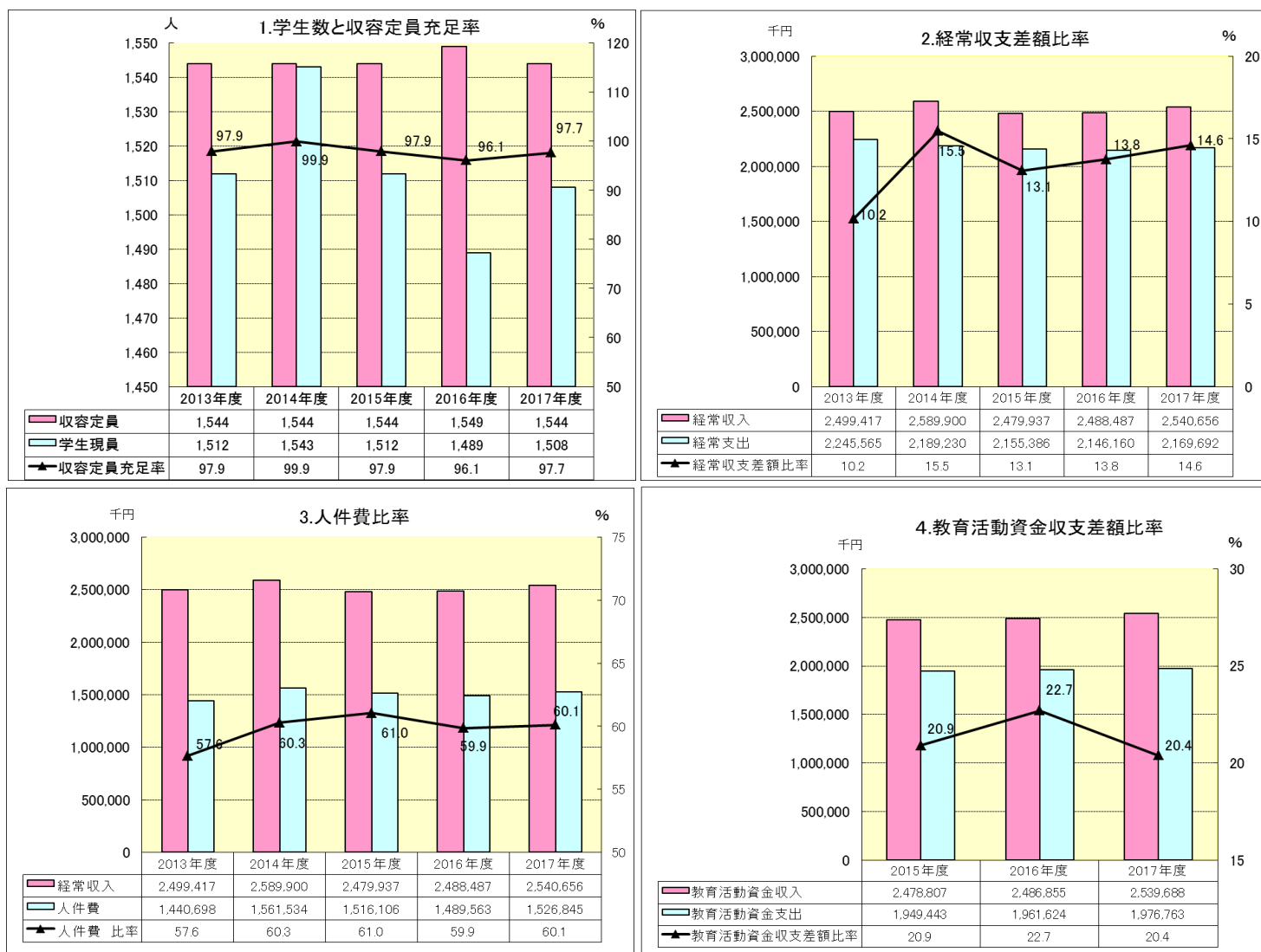
③経常収支差額比率 $= \text{経常収支差額} \div \text{経常収入}$

※2014年度以前は「帰属収支差額比率」からの組み替えて表示してあります。

④教育活動資金収支差額比率 $= \text{教育活動資金収支差額} \div \text{教育活動資金収入計}$
 教育活動でキャッシュフローが生み出されているかを表したものです。

聖隷クリストファー大学

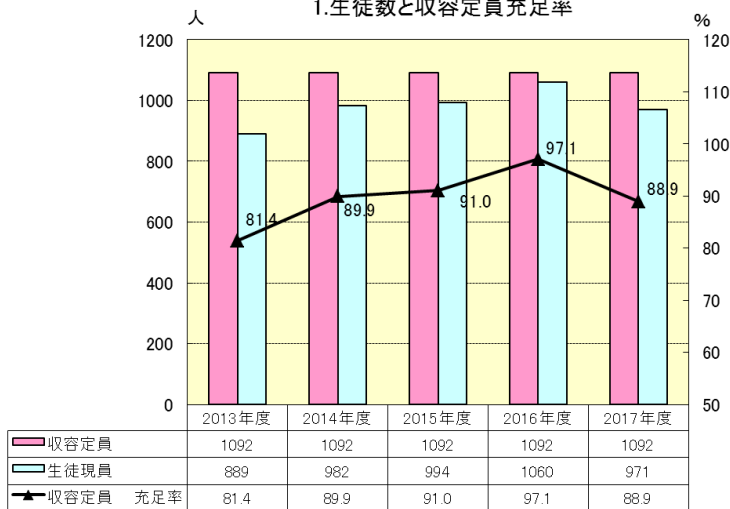
2017年度決算（大学全体）



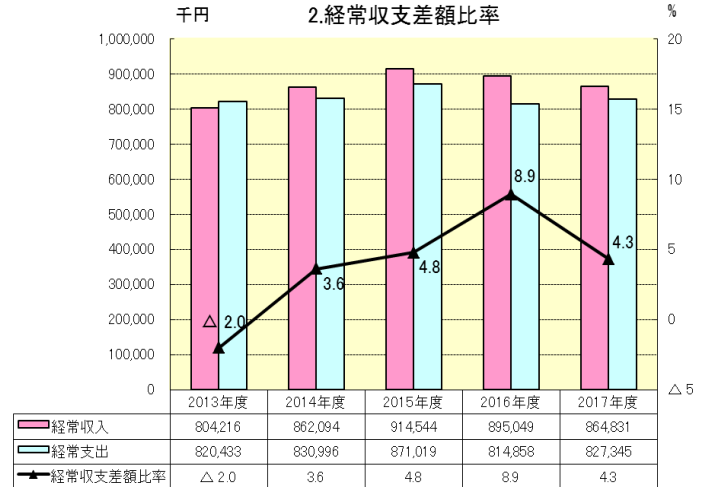
聖隷クリストファー中・高等学校

2017 年度決算（中・高等学校）

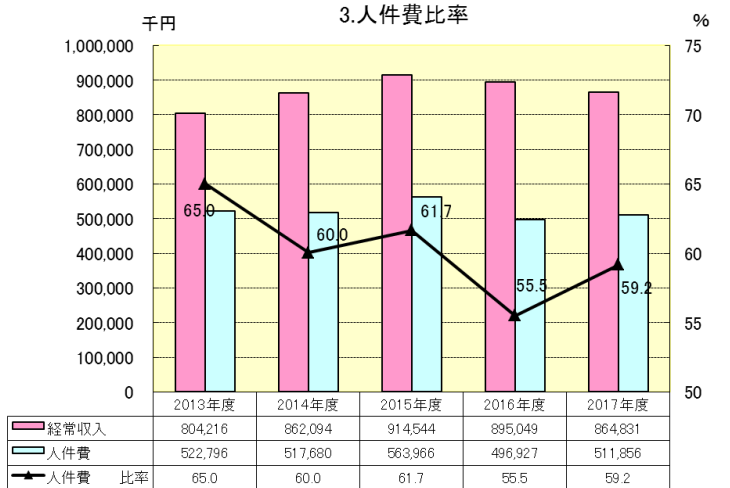
1. 生徒数と収容定員充足率



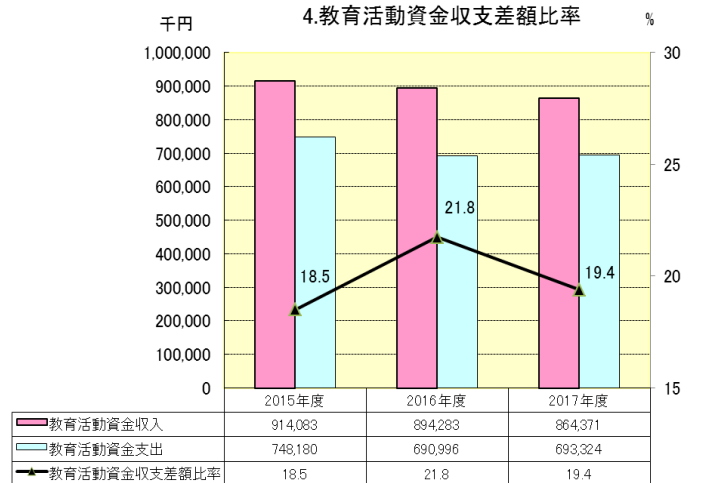
2. 経常収支差額比率



3. 人件費比率

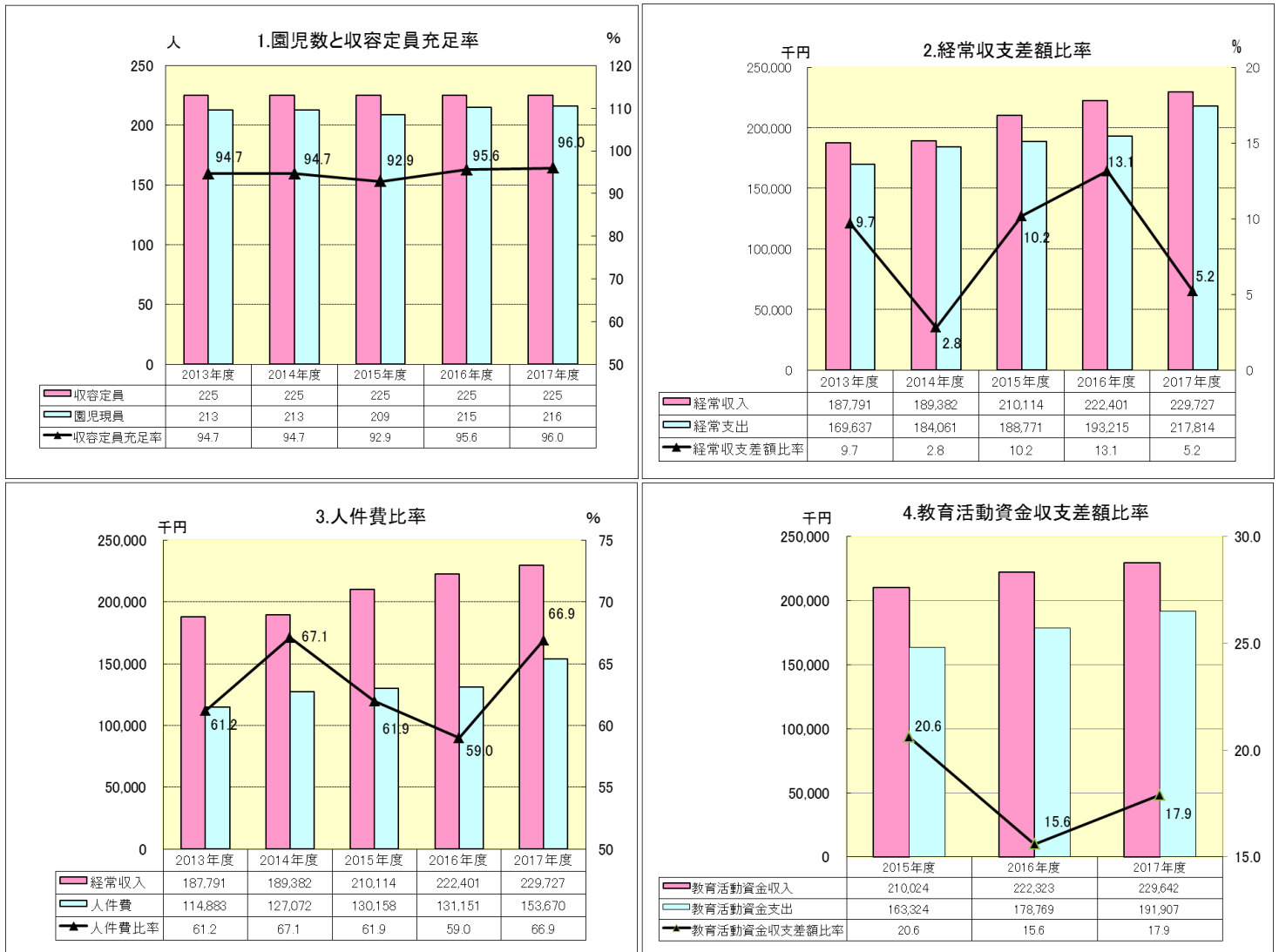


4. 教育活動資金収支差額比率



聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

2017 年度決算（こども園）



聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校は、2016 年度 4 月開校のため財務比率のみ掲載します。

	収容定員	学生現員数	定員充足率	人件費比率	経常収支差額比率	教育活動資金収支差額比率
2016 年度	40	22	55.0%	211.9%	△186.7%	52.4%
2017 年度	80	47	58.8%	74.3%	△20.1%	△7.7%

4 その他

(1) 借入金の状況

(単位:円)

借 入 先	期末残高	摘 要
		使 途
日本私立学校振興・共済事業団	880,640,000	大学5号館建築、運動場用地 労作用地、セミナーハウス棟建築
遠州信用金庫中川支店	342,800,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学2号館建築
りそな銀行浜松支店	139,700,000	高校校舎建築、大学2号館建築
浜松信用金庫三方原支店	397,270,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学2号館建築
静岡銀行浜松営業部	346,100,000	大学2号館建築、高校校舎建築 大学3号館建築
合 計	2,106,510,000	

(2) 寄付金の状況

(単位:円)

区分	氏 名	金 額	用途・品目等
一般寄付金	個人(2名)	40,000	
	聖隷クリストファー中・高等学校PTA様	2,494,176	
	聖隷クリストファー中・高等学校学年会計	721,411	
	合 計	3,255,587	
特別寄付金	個人(101名)	15,844,328	奨学資金、図書購入資金、部活動支援
	聖隷クリストファー大学同窓会様	298,000	図書購入資金 他
	聖隷クリストファー大学後援会様	15,754,663	スクールバス経費、学生食堂光熱水費 他
	聖隷クリストファー中・高等学校後援会様	29,946,574	スクールバス経費
	聖隷クリストファー中・高等学校PTA様	556,652	学生用コピー用紙補助、カフェテリア経費
	合 計	62,400,217	
現物寄付金	個人(28名)	6,450,900	科研費補助金購入備品 他
	聖隷クリストファー高等学校2017年度卒業生様	1,310,000	50型液晶テレビ、木製書架
	聖隷クリストファー中・高等学校後援会様	293,760	ネットワークカメラ、HDD
	合 計	8,054,660	

寄付金合計 73,710,464

(3) 補助金の状況

(単位:円)

補助金名称	交付団体	施設	決定金額
私立大学等経常費補助金	日本私立学校振興・共済事業団	大学	289,276,000
私立学校施設整備費補助金	文部科学省	高校	780,000
理科教育設備整備費等補助金	文部科学省	中学	103,000
私立学校経常費補助金	静岡県	高校	309,949,000
		中学	47,838,000
		こども園	1,216,000
私立専修学校運営費補助金	静岡県	専門学校	2,250,000
高等学校等就学支援金事務費補助金	静岡県	高校	886,000
私立学校教育環境整備事業費補助金	静岡県	高校	4,362,000
結核健康診断費補助金	浜松市	大学	344,520
		高校	235,440
		専門学校	24,336
私立学校教育振興事業費補助金	浜松市	高校	1,101,600
		中学	578,400
施設型給付費	浜松市	こども園	140,682,438
私立保育所等入所児童処遇向上費補助金	浜松市	こども園	10,571,300
私立保育所等事業費補助金	浜松市	こども園	12,204,000
浜松市幼稚園型一時預かり事業費補助金	浜松市	こども園	989,000
合計			823,391,034

(4) 関連当事者等との取引の状況

関連当事者等との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係の内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員の兼任等	事業上の関係				
理事長	長谷川 了	—	—	—	—	—	—	当法人の借入に対する債務被保証 (注1)	837,700,000	—	—
理 事	山本 敏博	—	—	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 理事長	—	—	設備の賃借	実習控室借用料(注2)	3,888,000	教育研究経費	—
						—	健康診断委託	学生生徒検診委託料(注2)	3,742,363	教育研究経費	—
						—	実習受入	実習受入謝礼(注2)	4,908,200	教育研究経費	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

※取引金額は消費税込み

(注1)当法人は、金融機関等からの借入に対して、理事長 長谷川了より債務保証を受けており、取引金額は平成30年3月末残高である。
なお、保証料の支払いは行っていない。

(注2)理事 山本敏博が、第三者(社会福祉法人 聖隷福祉事業団)の代表者として行っている取引である。
取引条件は双方協議の上、契約等に基づき決定している。

(5) 経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分

日本私立学校振興・共済事業団では、私立学校への適切な指導を行うために、学校法人の経営状態を定量的な指標により14通りに分類しています。この指標に基づき自己診断したところ、本学園は経常収支差額比率8.3%で、A3ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。

